＃はこだて × ＃市民活動 ＃SDGs

～ 市民活動団体 70 ガイドブック ～

函館市地域交流まちづくりセンター

＃はこだて ＃市民活動 × ＃SDGs 発行にあたって

新型コロナウイルス感染症拡大にあたり、当センターが行った緊急アンケートで私たちに寄せられた支援希望の中で最も多かったのが、「活動などの PR」でした。それを受けて作成したのが、この 2020 年度版市民活動団体 70 ガイドブックになります。

発行するにあたり、新しく取り入れたのが SDGs の視点です。冊子の中でも詳しく紹介していますが、SDGs とは 2015 年 9 月に国連持続可能な開発サミットで採択された世界共通の取り組みです。17 の目標があり、2030 年までに達成することを目指しています。

地球は今、自然環境や経済、社会などあらゆる面で様々な課題を抱え、それらは限界に近づいています。SDGs の 17 の目標は、地球や世界・地域を将来にわたって暮らしやすくし続けるための目標です。

SDGs に書かれた計画書の冒頭には「我々はこの共同の旅路に乗り出すにあたり、誰一人取り残さないことを誓う。」と書かれています。

この言葉は、様々な活動している私たちに対して、各々の活動を活かし“まだまだ地域に多く残されている課題を解決していくことが必要”であることを教えてくれています。

このように書くと、「自分たちの活動は地球規模の課題解決には関係ない」「そこまでの活動をするのは無理だ」とか思う方も多いかもしれません。しかしそれは違います。
SDGs の目標は、途上国や世界規模で活躍したい人だけのものではありません。地球に住んでいる全ての人のための目標です。

その目標を達成するために、まず必要なことは SDGs を通して世界をみること、そして、SDGs を自分たちの活動の道しるべや確認手段とすることです。

この冊子では、各団体の活動内容の紹介に加え、SDGs の 17 の目標の何番に該当する活動をしているかを記載するとともに、函館市や民間企業、当センターの取り組みなども紹介しています。

多くの団体が様々な形で SDGs の 17 の目標に向かって活動していることを知っていただき、地域の課題解決や活動に活かしていただければ幸いです。

最後に、掲載に快く応じていただいた各団体のみなさまに心より感謝申し上げます。

函館市地域交流まちづくりセンター
センター長　丸藤 競

目次

発行にあたって …… 1
市民活動団体の一覧 …… 3-4

1 市民活動団体の紹介（70 団体） …… 5-39

函館市、近郊の市民活動団体の活動紹介、活動風景、
SDGs17 の目標を掲載しています

2 SDGs について …… 40-46

SDGs ってなに？
私たちも SDGs に取り組む必要があるの？
高橋優介の SDGs アクション

SDGs の取組について
函館市
大鎌電気株式会社
函館市地域交流まちづくりセンター

SDGs の説明や取り組む必要性、身近なアクション、
SDGs に取組んでいる行政、民間企業、
函館市地域交流まちづくりセンターの SDGs 活動を紹介します

3 SDGs の活用 …… 47-48

各市民活動団体の SDGs17 の目標について
効果的に SDGs を市民活動に活用するためには？

掲載している市民活動情報（SDGs の目標）をまとめ、
グラフ化しました。
今後の活動にどのように SDGs をいかしていきますか？
ご参考にしてください。

市民活動団体の一覧

	団体名	ページ
あ行	アートスペースCapo	5
	あしおれんハコダテ	5
	択捉島水産会	6
	（特非）NPOサポートはこだて	6
	NPO"箱館写真"の会	7
	絵本読み語りグループ「マシュマロ」	7
	（特非）おはよう共同作業所	8
か行	（特非）救命のリレー普及会	8
	教育音楽 ぐるーぷ どるちぇ	9
	健康生活ネットワーク	9
	コーチングワークショップ函館	10
	心喜ぶ、思いっきりアート	10
	子どもの権利ネットワーク南北海道	11
	五稜郭の文化価値を考える会	11
さ行	（特非）市民創作「函館野外劇」の会	12
	就労継続支援B型　ら・ぱれっと	12
	就労継続支援B型　リバース	13
	笑福七福神祭実行員会	13
	（特非）自立の風かんばす	14
	市立函館博物館友の会	14
	（特非）セラピア	15
	総合型地域スポーツクラブ Bay Walk Community はこだて	15
た行	（特非）地域支援グループ くりの木	16
	（特非）ちえのわ	16
	朝鮮女性と連帯する函館の会（トンムの会）	17
	（特非）つむぎ	17
	手づくりボランティア工房「エンジョい」	18
	登校拒否と教育を考える函館アカシヤ会	18
	道南歌人協会	19
	道南ひきこもり家族交流会「あさがお」	19
な行	（特非）NALC（ナルク）函館はまなす	20
	（特非）日本ＦＰ協会 道南支部	20
	（特非）のぞみ会函館	21
は行	函館アートクラフトの会	21
	函館映画鑑賞協会	22
	（特非）はこだて音の視覚化研究会	22

市民活動団体の一覧

	団体名	ページ
は行	函館音楽協会	23
	はこだて検定合格者の会	23
	認定（特非）函館視覚障害者図書館	24
	函館市共同募金委員会	24
	函館・「下北」から核を考える会	25
	函館生涯学習インストラクターの会	25
	函館将棋倶楽部	26
	函館人権擁護委員協議会	26
	函館中途失聴者・難聴者協会	27
	箱館ちんどん	27
	函館日ロ交流史研究会	28
	函館の音楽と歴史を考える会	28
	函館の文学と音楽の会	29
	函館の歴史的風土を守る会	29
	函館文学学校	30
	（特非）はこだて街なかプロジェクト	30
	函館町並み資料館	31
	函館メサイア教育コンサート実行委員会	31
	（特非）函館レクリエーション協会	32
	（一財）函館ＹＷＣＡ	32
	ひきこもり体験者のつどい「樹陽のたより」	33
	ひまわり号を走らせる函館実行委員会	33
	フードバンク道南協議会	34
	（特非）北斗スポーツクラブ	34
	（公財）北海道移植医療推進財団	35
	（一社）北海道言語聴覚士会　道南支部	35
	（特非）北海道坂本龍馬記念館実行委員会	36
	（公社）北海道理学療法士会　道南支部	36
ま行	南北海道創才教育推進会	37
	（特非）みんなのさぽーたー　わっとな	37
	喪の悲しみを癒やす会	38
や行	ゆうとぴあ友の会	38
ら行	レインボーはこだてプロジェクト(RHP)	39
わ	（一社）ワールズ・ミート・ジャパン	39

法人略称　　（特非）・・・特定非営利活動法人
（一財）・・・一般財団法人　　（公財）・・・公益財団法人
（一社）・・・一般社団法人　　（公社）・・・公益社団法人

アートスペース Capo

代表者	髙島　啓之	住所	〒 040-0053
連絡担当者	髙島　啓之		函館市末広町 4-9　まちづくりセンター内
ＴＥＬ	090-8371-5554	ＦＡＸ	
活動エリア	市内、近郊	設立年月日	2016 年 6 月 1 日
ホームページ	http://capolatte.jugem.jp/		
メール	capolatte@gmail.com	活動の曜日	毎日
会員数	100 名	活動の時間	ご希望にそって

こんな活動しています。活動のＰＲ。

1955 年代前後に大学生や若者を中心に東京などで流行した歌声喫茶を再現。淹れたての美味しいコーヒーと歌集 3 冊（300 曲以上）を持参し、お客様のリクエストに応じ、タッカのギター生演奏に合わせ、みんなで声を合わせて歌います。目の見えにくいお客様のため、そして顔をあげ姿勢良く歌っていただくためにスクリーンに歌詞を投影しています。

私たちは歌を歌うことで健康促進や介護予防につながると確信しております。また、歌声喫茶を楽しみに通うことで社会的孤立化の予防もできると考えて、函館市内や近郊にて定期開催しています。

活動の様子

歌声喫茶の様子

SDGs17 の目標

あしおれんハコダテ

代表者	宮腰　智美	住所	〒 040-0011
連絡担当者	宮腰　智美		函館市本町 22-22
ＴＥＬ	070-4120-9155	ＦＡＸ	0138-31-3700
活動エリア	市内	設立年月日	2020 年 1 月 5 日
ホームページ			
メール	naruparaku@gmail.com	活動の曜日	日
会員数	8 名	活動の時間	10:00 ～ 12:00

こんな活動しています。活動のＰＲ。

遊びながら英語に親しむ「英語であそぼ！」や色々な職業に携わる方のお話を聞ける「なるほど・ワールド」などのレクリエーションがある（参加自由）
・子ども無料、大人（つきそい）300 円
・「じゃんけんしてお菓子をもらおう！」もやってます
・ただ来て居るだけでも、他のお友達と遊ぶだけでもいいです

活動の様子

「英語であそぼ」の風景

SDGs17 の目標

択捉島水産会

代表者	代表管理役　駒井　惇助	住所	〒 040-0053
連絡担当者	駒井　惇助		函館市末広町 4-19 函館市地域交流まちづくりセンター3階
ＴＥＬ	0138-23-0080	ＦＡＸ	0138-23-0080
活動エリア	市内・近郊・択捉島	設立年月日	1923 年 11 月 5 日
ホームページ			
メール		活動の曜日	月・火・水・木・金・土
会員数	81 名	活動の時間	13:00 ～ 17:30

こんな活動しています。活動のＰＲ。

1、函館～択捉島間の水産関係史の調査・研究
2、函館～択捉島間の水産関係の講演会および資料展の開催
3、択捉島のロシア人水産研究者との交流
4、日ロ水産関係情況の研究
5、日ロ交流団体、海洋研究機関等との連携

活動の様子

択捉島ロシア人水産研究者との交流

SDGs17 の目標

特定非営利活動法人

NPO サポートはこだて

代表者	山内　一男	住所	〒 041-0806
連絡担当者	丸藤　競		函館市美原 4-26-17
ＴＥＬ	0138-22-9700	ＦＡＸ	0138-22-9800
活動エリア	市内・道南	設立年月日	2006 年 4 月 12 日
ホームページ	http://hakomachi.com/		
メール	info@hakomachi.com	活動の曜日	月・火・水・木・金・土・日
会員数	17 名	活動の時間	9:00 ～ 21:00

こんな活動しています。活動のＰＲ。

函館や道南のまちづくり活動を盛んにするため、道南の中間支援組織として、全道各地の中間支援組織と連携しています。

各団体のミッション（使命）や活動しやすい環境のために、各種セミナーや講座の開催、情報発信、運営に関する相談、団体間の連携促進、ニーズの調査などを行っています。（NPO まつりの開催や町会活動への協力、インターンシップ受け入れなど）

・2007 年より、函館市地域交流まちづくりセンターの指定管理業務を受託
・2015 年より、函館市生活支援コーディネーター業務を受託
・シーニックバイウェイ北海道に協力し、光の小径 (こみち)、清掃活動などに参加
・市内公共施設等で構成する函館を盛り上げる団体「チームもみの木」に 2013 年より参加。クリスマスファンタジー、函館マラソンに協力
・開港 5 都市景観まちづくり会議 2018 函館大会に実行委員会として参加
・北の国災害サポートチームに参加

活動の様子

NPO まつりの様子

SDGs17 の目標

NPO”箱館写真”の会

代表者	野戸　崇治	住所	〒041-0836
連絡担当者	野戸　崇治		函館市山の手1-8-3
ＴＥＬ	090-7229-0894	ＦＡＸ	
活動エリア		設立年月日	2011年6月
ホームページ	https://www.facebook.com/hsnokai/		
メール	belfun01@gmail.com	活動の曜日	随時
会員数	4名	活動の時間	

こんな活動しています。活動のＰＲ。

箱館と函館に関係のある写真である”箱館写真”の研究。

- 図書館、博物館などに保存されている”箱館写真”を市民にお知らせする
- 市民宅に保存されている”箱館写真”を他の市民にお知らせする。
- ”箱館写真”にまつわる歴史の研究
- まちづくりセンターを会場にした写真展を、随時開催。
- 歴史関係の研究グループで、年数回の”箱館写真”研究の報告。

右の「土方歳三の写真」は、箱館で撮られた日本で一番有名な一枚です。”箱館写真”の代表といってもいいでしょう。（函館市中央図書館所蔵）

活動の様子

SDGs17の目標

絵本読み語りグループ「マシュマロ」

代表者	弦木　恵美子	住所	〒041-0806
連絡担当者	弦木　恵美子		函館市美原4丁目18-18
ＴＥＬ	0138-46-6400	ＦＡＸ	0138-46-6400
活動エリア	市内	設立年月日	
ホームページ			
メール		活動の曜日	月・火・水・木・金・日
会員数	16名	活動の時間	10:00~15:00

こんな活動しています。活動のＰＲ。

- 絵本の読み語り
- 朗読
- 録音テープ（音訳）作り

活動の様子

入学児童お祝いの会（学童保育所にて）

SDGs17の目標

特定非営利活動法人

おはよう共同作業所

代表者	野澤　朝子	住所	〒041-0801
連絡担当者	野澤　明美		函館市桔梗町 59-88
ＴＥＬ	0138-49-0280	ＦＡＸ	0138-49-0295
活動エリア	市内	設立年月日	1993 年 10 月 1 日 法人設立 2006 年 12 月
ホームページ			
メール	ohayou@msb.ncv.ne.jp	活動の曜日	月・火・水・木・金、行事の時は、土・日
会員数	43 名	活動の時間	9:00 ～ 15:00

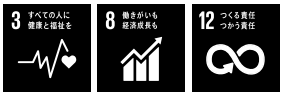
こんな活動しています。活動のＰＲ。

地域活動支援センター事業所です。
★リサイクルを心がけながら、布の製品を作っています。
★いろいろな障がいを持つ人とスタッフが一緒に作業をしています。
★できる作業をそれぞれに分担して、ひとつの製品をつくりあげます。
★福祉の店（まちセン入口「どんぐり２号店」）で製品を販売しています。
★一番人気の布ぞうり、着物でチュニック・ワンピース、
　素敵な柄のコースター etc
★コースターは、HOYA エコプロジェクトの商品に選ばれました。
★３月からはマスク作りをしています。
★ヤマト運輸の下請け作業「ＤＭ便」の配達をしています。
★作業もエコですが、資源回収をしてゴミに出さない活動をしています。

活動の様子

布コースターの袋詰め

SDGs17 の目標



特定非営利活動法人

救命のリレー普及会

代表者	田中　正博	住所	〒042-0955
連絡担当者	田中　正博		函館市高丘町 5-3
ＴＥＬ	080-6093-6968、0138-57-9150	ＦＡＸ	0138-57-9150
活動エリア	市内、近隣市町	設立年月日	2009 年 10 月 19 日
ホームページ	http://www6.ncv.ne.jp/~1945mt/		
メール	1945mt@ncv.jp	活動の曜日	月・火・水・木・金・土・日
会員数	30 名	活動の時間	9:00 ～ 18:00

こんな活動しています。活動のＰＲ。

救命手当講習会、福祉有償運送、患者等搬送、自主防犯パトロールなどの実施活動を行っています。
救命講習は、函館・道南で要望に応じて開催しています。

活動の様子

救命講習会の様子

SDGs17 の目標

教育音楽ぐるーぷ どるちぇ

代表者	細谷　悦子	住所	〒 040-0056
連絡担当者	蛯子　かなえ		函館市弥生町 23-3
ＴＥＬ	090-2074-9437	ＦＡＸ	
活動エリア	市内・北斗市・七飯町	設立年月日	1973 年 4 月 1 日
ホームページ			
メール	maachan110511@gmail.com	活動の曜日	火・金・土
会員数	80 名	活動の時間	10:30 ～ 12:00

こんな活動しています。活動のＰＲ。

主宰者細谷悦子先生の指導のもと、音楽を通して、人との交わりを大切にし、活動しています。

・次世代に伝えたい日本歌曲、童謡を先生から 1 曲ずつ、曲の背景、作詞家、作曲家のお話を教えていただきながら、勉強しています。
・2019 年は「創立 45 周年記念演奏会」を芸術ホールにて、小学生から函館出身の若い演奏家と、ゲストにテノールの樋口達也さんをお招きし、開催しました。
・ＮＰＯまつり、市民文化祭の参加や施設訪問などを行っています。

活動の様子

45 周年記念演奏会

SDGs17 の目標

健康生活ネットワーク

代表者	野見　忠子	住所	〒 040-0053
連絡担当者	野見　忠子		函館市末広町 5-3-101
ＴＥＬ	0138-27-8200	ＦＡＸ	0138-27-8200
活動エリア	市内、北斗市、七飯町	設立年月日	2007 年 4 月 1 日
ホームページ			
メール		活動の曜日	不定期
会員数	30 名	活動の時間	10:00 ～ 12:00

こんな活動しています。活動のＰＲ。

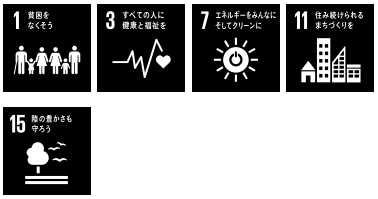
〇心身ともに健康な人づくり、地域、まちづくりに参加、活動しています

・公共施設等、学校への活け込みボランティア
・花で楽しむ。生花でミニサークル、子どもたちとお絵かき等で楽しむ
・茶の湯を楽しむ。食事法を語らい皆でつくり食事を楽しむ
・自然農法を中心とした日本型食生活の提案
・自然食料理研究会・みそづくり、無農薬家庭菜園セミナー
・子どもと一緒に一輪花や茶の湯を楽しむ
・健康増進セミナー・健康法体験
・自然農法、有機農法実施農家訪問、援農ほか

活動の様子

NPO まつり参加の様子

SDGs17 の目標



コーチングワークショップ函館

代表者	江口　文明	住所	〒 040-0003 函館市松陰町 16-31-303
連絡担当者	江口　文明		〒 002-0856 札幌市北区屯田６条 2 丁目 5-3
ＴＥＬ	090-1640-7761	ＦＡＸ	
活動エリア	市内	設立年月日	2016 年 8 月 1 日
ホームページ	https://cwhweb.amebaownd.com/		
メール	cwhakodate@gmail.com	活動の曜日	毎月 1 回　月末の土曜日もしくは日曜日
会員数	約 40 名	活動の時間	14:00 ～ 16:30

こんな活動しています。活動のＰＲ。

　コミュニケーションの取り方は色々です。このコミュニティではコーチングスキルを繰り返し実践しながら、その人にマッチしたスタイルを探しながら学習を深めていきます。
　なぜそのようにするのか？（理由）、なにがそうさせているのか？（原因）を多くの方々の経験を参考に探していきます。

＜コーチングで得られる主なこと＞
・会話することで自分の思いや新たな自分に気づけるようになります。
・気持ちに気づければ、色んなアイディアが考えられる。
・自らのことをより知り、向き合うことでさらに考える力と行動力がついていきます。・協働が根付く。・人間関係が好転していく。
・周りの方との新たなコミュニケーションのとり方がみつかる。
・思いやりや共感の力が強まる。・行動の選択肢がみえる。
・人と心からつながる力強さを実感できる。

活動の様子

セミナー風景

SDGs17 の目標

心喜ぶ、思いっきりアート

代表者	中村　まゆみ	住所	〒 041-1122
連絡担当者	中村　まゆみ		亀田郡七飯町大川 8-7-7
ＴＥＬ	090-7653-5125	ＦＡＸ	0138-65-8712
活動エリア	市内・七飯町	設立年月日	2018 年 9 月 1 日
ホームページ	https://hoido-ma.jimdofree.com/		
メール	hoido-ma@ms5.ncv.ne.jp	活動の曜日	火・木・土
会員数	3 名	活動の時間	

こんな活動しています。活動のＰＲ。

　日本発祥の臨床美術（芸術療法 / アートセラピー）のアートプログラムを使って、絵やオブジェなどの作品を楽しみながらつくり、できあがった時の感動を皆で共有しています。美術の力を通して、すべての人が健康で豊かな社会づくりを目指します。
　美術の経験が全くない高齢者、認知症になってしまった方、また認知症予防に脳を活性化させたい方、仕事をしていてストレスを感じて働く方、そして時には子どもさんも、どなたでもアート制作ができます。

「習い事なら、上手になってどうのこうのあるけれど、臨床美術は毎回初心者！それが良いです。臨床美術は心が縛られない、何かを覚える必要もない。自分の作品を毎日見て笑顔になれる。皆様の作品を見て楽しめる。良い事尽くめ！」Ｎさん談

活動の様子

2019 年赤い羽根共同募金・助成金で講演会ワークショップ開催

SDGs17 の目標

子どもの権利ネットワーク南北海道

代表者	武田　和男	住所	〒 041-0806
連絡担当者	武田　和男		函館市美原 5-44-33
ＴＥＬ	0138-46-8388	ＦＡＸ	0138-46-8388
活動エリア	函館と周辺の道南地域	設立年月日	2001 年 5 月 13 日
ホームページ	只今休止しています		
メール	mktake54433@ncv.jp	活動の曜日	不定期、総会 (年に 1 回)、運営委員会（月 1 回）
会員数	30 名	活動の時間	

こんな活動しています。活動のＰＲ。

子どもの権利条約と国連子どもの権利委員会勧告を学び「葉っぱの森」というお便りを発行しています。過去には「子どもの今を語る集い」を開催し、不登校やいじめの実態を知り、親と子どもへの支援をしていました。

また「子どもの遊び場」を市民会館で 3 年間開催し、7 年前に「はこだて子ども白書」を１３団体に呼びかけ、白書作成委員会を立ち上げ全市内に届けました。数年前、地域図書室閉鎖を知り、子どもと生涯学習にとって欠くことのできない施設なので、存続を幾度も教育委員会生涯学習部に求め続けました。

2020 年 1 月に講演会「スウェーデンの教育と生活〜日本の教育とどんなところが違う？？〜」を開催し、日本の子どもへの見方や教育の違いを浮き彫りにしました。

コロナという特殊な感染を経験し、学校には少人数学級が必要です。
大人が子どもの声をしっかり聞いて、街の将来に生かせる道筋を作っていくことが、大人の使命と思っています。

活動の様子

スウェーデンの学校入り口にある 3 人の像

SDGs17 の目標

五稜郭の文化価値を考える会

代表者	佐々木　馨	住所	〒 040-0005
連絡担当者	小山　直子		函館市人見町 5-46
ＴＥＬ	090-9524-6532、0138-59-5265	ＦＡＸ	0138-59-5265
活動エリア	市内・近郊	設立年月日	2015 年 4 月
ホームページ			
メール		活動の曜日	随時
会員数	100 名	活動の時間	

こんな活動しています。活動のＰＲ。

「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録が実現したら、次は「五稜郭を世界遺産に！」という意気込みで活動をしています。そのために、五稜郭の広義の文化価値を多くの市民の皆さんに知っていただきたい、という目的で情報発信に努めています。

主な活動は、年 2 回の講演会と 5 回の連続講座の開催です。

講演は五稜郭の歴史や箱館奉行所に関わった人物、開港時期の箱館の様子等を広く紹介する内容になっています。講座は五稜郭に関する原資料を読み解きながら文化価値を検証しています。

会員の皆さんの要望に応え、五稜郭公園内の普段はあまり行かないような所を実際に歩き、資料をもとに稜堡や土塁等の築造跡を確認する楽しいミニ講座も実施いたしました。会報や新聞等でも開催案内をしますので、どうぞご興味のある方はご参加ください。

活動の様子

五稜郭公園での講座の様子

SDGs17 の目標

特定非営利活動法人

市民創作「函館野外劇」の会

代表者	中村　由紀夫	住所	〒 040-0001
連絡担当者	土谷　雅宏		函館市五稜郭町 29-7
ＴＥＬ	0138-56-8601	ＦＡＸ	0138-56-8602
活動エリア	市内	設立年月日	1999 年 7 月 30 日
ホームページ	http://www.yagaigeki.com/		
メール	office@yagaigeki.com	活動の曜日	金・土
会員数		活動の時間	19:30 ～ 20:45

こんな活動しています。活動のＰＲ。

アイヌ伝承の時代から現在まで、函館の人々がその時代の困難を乗り越えて街づくりをしてきた経緯を綴った歴史劇である。

この歴史劇は、ヨーロッパのボーバン型要塞を模した国の特別史跡、五稜郭跡を舞台にして演じられるものである。毎年、出演者と裏方を含め延べ約 2,000 人が参加し、そのほとんどが市民ボランティアである。

公演時間は，金曜、土曜午後 7 時 30 分からの公演で、アイヌの踊りから現在までの 13 場面が出演者によって演じられる。観客動員数は、総勢 3,000 人を目標にしている。

この活動を通じて、①まちづくりの推進、②文化・芸術の振興、③子どもの健全育成を図ることを目的としている。

活動の様子

野外劇のフィナーレ

SDGs17 の目標

就労継続支援Ｂ型　ら・ぱれっと

代表者	高杉　聖司	住所	〒 049-0101
連絡担当者	高杉　聖司		北斗市追分町 3-1-28
ＴＥＬ	0138-50-8008	ＦＡＸ	0138-50-8028
活動エリア	市内・七飯町・近郊	設立年月日	2017 年 10 月 24 日
ホームページ	http://laparet.jp		
メール	spsn5ex@road.ocn.ne.jp	活動の曜日	月・火・水・木・金
会員数	20 名定員	活動の時間	10:00 ～ 15:00

こんな活動しています。活動のＰＲ。

さまざまな作業を通じて、イベント等を通じて、集中力、コミュニケーション力をつけ、楽しみながら一歩づつ自信をつけていけるようにサポートしています。

活動の様子

ガチャガチャ製品を作ってます

SDGs17 の目標

就労継続支援 B 型　リバース

代表者	朝倉　宣明	住所	〒 049-0111
連絡担当者	小橋　由実		北斗市七重浜 8-6-2
ＴＥＬ	0138-83-7333	ＦＡＸ	0138-83-7393
活動エリア	市内・北斗市・七飯町	設立年月日	2017 年 6 月 29 日
ホームページ	https://www.rebirth-support.jp/		
メール	rebirth@host.or.jp	活動の曜日	月・火・水・木・金
会員数	40 名	活動の時間	8:30 ～ 17:30

こんな活動しています。活動のＰＲ。

　リバースは知的・精神・身体に障がいをもった方たちが通所する施設です。その中でも、比較的障がいの重い方に“働く機会”を提供しています。
　『こころゆたかに自分らしく』をコンセプトに、利用者ひとりひとりの夢中になれる事を応援し、働く喜びを実感していただきたいと願っています。
　リバースは明るく楽しく！誰でも気軽に足を運び交流できるような、風通しの良い事業所を目指しています。

～見学をお受けしています。いつでもお問合せください～

- ■ 各種軽作業
- ■ 陶芸・羊毛フェルト作品制作
- ■ 施設外就労
- ■ 行事（ドライブ、登山、自然散策等、楽しい行事がたくさんあります）
- ■ 食事、送迎サービスあり

活動の様子

NPO まつり販売風景

SDGs17 の目標

笑福七福神祭実行委員会

代表者	井上　清美	住所	〒 040-0062
連絡担当者	井上　清美		函館市大縄町 12-14
ＴＥＬ	090-5878-4158	ＦＡＸ	0138-42-0715
活動エリア	市内、近郊	設立年月日	1999 年 10 月
ホームページ			
メール	d-hikari@msb.ncv.ne.jp	活動の曜日	随時
会員数	8 名	活動の時間	

こんな活動しています。活動のＰＲ。

1 月　新年幕開けと共に行う「笑福七福神祭」
7 月　入舟漁港においての海上祈願、大漁祈願祭と同時に
　　函館水産高生と共に新島襄海外渡航の地碑により、
　　新島襄 脱国寸劇披露

活動の様子

新島襄 脱国寸劇

SDGs17 の目標

特定非営利活動法人

自立の風かんばす

代表者	横川　由紀	住所	〒 040-0073
連絡担当者	高谷　稔		函館市宮前町 34-1
ＴＥＬ	0138-86-7555	ＦＡＸ	0138-86-7555
活動エリア	市内・近郊	設立年月日	2005 年 5 月 1 日
ホームページ	http://canvas.huto.link		
メール	canvas@huto.link	活動の曜日	火・土・日
会員数	150 名	活動の時間	12:00 ～ 17:00

こんな活動しています。活動のＰＲ。

私たちは障害者の自立生活を支援する活動を行っています。

自立生活とは、自分らしさを追求して生きていくことです。

自分のことを自分で決め、自分で行い、自分のことについて自分が責任を負うということが障害があることによってしづらくなり、結果として自分らしく生きることが難しくなってしまうことがままあります。

でもそれは本人の問題ではなく、社会のあり方に問題があるのだと私たち自立の風かんばすは考えています。

私たちはそんな社会を変えるために、障害当事者が中心となって、どんな障害があったとしても、地域社会で自分らしく生きていくことができるように、自立生活を実現するための練習や自立生活の継続のための支援、自立生活の啓発や居場所づくり、催しを通した相互理解の促進活動などを行っています。

活動の様子

自立の練習中です！

SDGs17 の目標

市立函館博物館友の会

代表者	若山　直	住所	〒 040-0053
連絡担当者	野田　明彦		函館市末広町 21-12
ＴＥＬ	0138-27-3344	ＦＡＸ	0138-27-3344
活動エリア		設立年月日	1970 年 10 月 4 日
ホームページ			
メール		活動の曜日	
会員数	一般会員 66 名、企業会員 9 社	活動の時間	

こんな活動しています。活動のＰＲ。

1、学習会（講演会、研究会など）の開催
2、近隣市町村の史跡、遺跡、博物館施設等の見学
3、北海道内・本州の博物館施設等の見学を兼ねた研修旅行会
4、友の会の通信（年 2 回）、会報（年 1 回）の発行
5、ガイドブック函館の文化財等出版物の刊行、頒布
6、市立函館博物館事業の後援・協力

活動の様子

国立アイヌ民族資料館見学

SDGs17 の目標

特定非営利活動法人

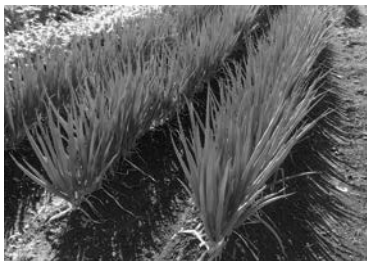
セラピア

代表者	平田　聡	住所	〒 041-0801
連絡担当者	平田　聡		函館市桔梗町 417-13
ＴＥＬ	0138-47-2512	ＦＡＸ	0138-47-2512
活動エリア	市内・北斗・七飯	設立年月日	2006 年 8 月 16 日
ホームページ	http://selapia-ansyante.com/		
メール	selapia@msc.ncv.ne.jp	活動の曜日	土・日、他
会員数	10 名	活動の時間	9:00 ～ 15:00

こんな活動しています。活動のＰＲ。

・農業福祉連携（2021 年 4 月予定）
　農業の人手不足を障がい者や引きこもり当事者が担う、車イスでも収穫できるハウス農園
　農業福祉連携事業の名前は、「晴れたらいいね」です
・セラピア製品販売中！
　函館山ロープウェイ売店やふらっとｄａｉｍｏｎ、津軽海峡フェリー売店
・引きこもり家庭支援茶話会 ～会館使用休止中
・就労継続支援 B 型事業所の運営（休止中）

活動の様子



作物育てて人みがき

SDGs17 の目標

総合型地域スポーツクラブ　Bay Walk Community はこだて

代表者	小澤　貢一	住所	〒 040-0046
連絡担当者	小澤　貢一		函館市谷地頭町 11-15
ＴＥＬ	0138-23-2981	ＦＡＸ	0138-23-2981
活動エリア	市内	設立年月日	2008 年 2 月 20 日
ホームページ	https://bit.ly/37Zcann		
メール	samurai4747@gmil.com	活動の曜日	日・火・水・木・土
会員数	100 名	活動の時間	10:00 ～ 12:00

こんな活動しています。活動のＰＲ。

1、いろいろなスポーツやエクササイズを通して、市民の皆様の健康寿命のための伴走者のつとめを果たします
2、敬愛、ふれ愛、支え愛の 3 つの愛を大切にするコミュニティをつくります。インクルーシブスポーツを推進します。
3、「あなたがいるから私もいる」という豊かな人間のつながりを目指します。
4、活動種目…マシンローイング、ノルディックウォーキング、ペタンク、ボッチャ、セーリング、カヤック、ボート、笑いヨガ、フラダンス

活動の様子

マシンローイング

SDGs17 の目標

特定非営利活動法人

地域支援グループ くりの木

代表者	内藤　厚子	住所	〒 041-0806
連絡担当者	棟方　みな子		函館市美原 5-24-3
ＴＥＬ	0138-86-6011	ＦＡＸ	0138-86-6041
活動エリア	旧市内	設立年月日	2000 年 10 月 7 日 法人設立 2017 年 11 月 1 日
ホームページ			
メール	kurinoki1107@gmail.com	活動の曜日	火・水・木・土
会員数	185 名	活動の時間	10:00 ～ 14:30

こんな活動しています。活動のＰＲ。

・ミニデイサロン　お茶っこくらぶ
　Ａ組…第 1、第 3 土曜日
　Ｂ組…第 2、第 4 土曜日
　Ｃ組…第 1、第 3 木曜日
・買い物サロン　毎週水曜日
　※ いずれも送迎あり

・趣味くらぶ
　麻雀くらぶ…月 4 回、温泉くらぶ…月 1 回
・たすけあいサービス　有償でスタッフ派遣
　家事支援・通院などは、1 時間 850 円＋ 500 円（交通費）
　外仕事・力仕事などは、1 時間 1,000 円＋ 500 円（交通費）

活動の様子

2020 年合同新年会

SDGs17 の目標

特定非営利活動法人

ちえのわ

代表者	小柄　千恵子	住所	〒 041-1104
連絡担当者	小柄　千恵子		亀田郡七飯町上藤城 313-123
ＴＥＬ	090-8636-2149	ＦＡＸ	0138-65-9565
活動エリア	七飯町・市内	設立年月日	2019 年 12 月 3 日
ホームページ	https://tunagarichienowa.wixsite.com/chienowa		
メール	npo-chienowa@outlook.jp	活動の曜日	月・火・水・木・金・土・日
会員数	20 名	活動の時間	8:00 ～ 20:00（応相談）

こんな活動しています。活動のＰＲ。

・福祉有償運送事業
　単独では公共交通機関の利用が困難な高齢者や障がい者を対象に自家用車を使用して移動の支援をしています。車までの歩行や乗降の介助を行い、ひとりでは外出が難しい方も社会とのつながりを保ち、気軽に外出できる町になるように活動しています。
・日常生活支援
　公的サービスでは利用できない日常生活支援を行い住み慣れた町、自宅で自分らしい生活が続けられるように支援しています。
・介護、福祉に関する講座、講習会開催 福祉有償運送運転者講習のみ実施予定。
　(地域食堂、サロン活動も今後活動を予定していますが、コロナウイルス感染拡大防止から 2020 年度の開催は見合わせています。)

活動の様子

福祉有償運送の活動中

SDGs17 の目標

朝鮮女性と連帯する函館の会（通称トンムの会）

代表者	平出　陽子	住所	〒 042-0942
連絡担当者	加茂　千恵		函館市柏木町 22-10
ＴＥＬ	0138-53-5064、090-8906-2400	ＦＡＸ	0138-53-5064
活動エリア	市内、松前、渡島	設立年月日	1988 年 2 月
ホームページ			
メール		活動の曜日	日 (第 3)
会員数	30 名	活動の時間	13:00 ～ 17:00

こんな活動しています。活動のＰＲ。

◎朝鮮文化講座
　・朝鮮料理講習会 (年 1 回会場・・・青年センター調理室)
　・ポジャギサークル (毎月第 3 日曜日 13:00 ～ 会場・・・朝鮮会館 3 階)
◎香雪園の日朝友好親善桜千本の観察・観桜会 (成長の記録を写真に写す)
◎松前専念寺で行われる「松前線工事殉難者慰霊祭」に参加（毎年 5 月 3 日）
◎函館朝鮮慰霊碑法要祭に参加 (毎年 8 月)
◎学習会 (年 2 回～ 3 回、過去・現在・未来に学ぶ)
◎北海道朝鮮小中高級学校訪問・支援・札幌アンニョンフェスタバスツアー
　(2 年に 1 回)
◎ NPO まつり参加
◎アンニョンフェスタ in 函館 (毎年)
◎新年交流会

活動の様子

アンニョンフェスタ函館

SDGs17 の目標

特定非営利活動法人

つむぎ

代表者	松倉　順子	住所	〒 040-0014
連絡担当者	秋田　千春		函館市中島町 5-4
ＴＥＬ	0138-76-4090	ＦＡＸ	0138-76-4090
活動エリア	市内・近郊	設立年月日	2011 年 11 月 24 日
ホームページ	http://www.npo-tsumugi.com		
メール	info@npo-tsumugi.com	活動の曜日	月・火・水・木・金
会員数	40 名	活動の時間	8:30 ～ 17:30

こんな活動しています。活動のＰＲ。

就労継続支援Ｂ型事業所として、地域で誰もが安心して暮らすことができるよう、障害のある方へ地域生活支援・就労支援を行い、地域福祉や障害者福祉の構築に寄与することを目的としています。

障害のある方と共に生産活動を通して、作業スキルやコミュニケーション能力を身につけ、「仲間と共に、自分らしく生き生きと」社会参加できるよう就労支援を行っています。

主な生産活動は、12 種類の焼き菓子やおからパンの製造、くるみボタンマグネット、マスクなどの手芸小物作りなど。

外部からの受託作業では封入と宛名シール貼り、紙折、箱折り、チョコや珍味の袋詰めなどです。

その他、通信「ひびきの音色」や「つむぎ便り」を発行しています。

活動の様子

SDGs17 の目標

手づくりボランティア工房「エンジョい」

代表者	江口　峰子	住所	〒 040-0053
連絡担当者	江口　峰子		函館市末広町 23-3-1101
ＴＥＬ	090-7512-5865	ＦＡＸ	0138-26-3452
活動エリア	市内・近郊	設立年月日	2010 年 4 月 1 日
ホームページ			
メール	eguchimineko@gmail.com	活動の曜日	水
会員数	9 名	活動の時間	13:00 ～ 16:00

こんな活動しています。活動のＰＲ。

　眠っている素材を活用し、知恵や技術を出し合って楽しくものづくりをしています。
　バザー等の収益金は、社会福祉等に寄付させていただいています。

活動の様子

NPO まつり参加の様子

SDGs17 の目標

登校拒否と教育を考える函館アカシヤ会

代表者	野村　俊幸	住所	〒 042-0932
連絡担当者	野村　俊幸		函館市湯川町 1-25-4　野村俊幸方
ＴＥＬ	090-6261-6984	ＦＡＸ	0138-57-3041
活動エリア	道南全域	設立年月日	1993 年 3 月
ホームページ			
メール	tnomura@sea.ncv.ne.jp	活動の曜日	日 (第 3)
会員数	104 名	活動の時間	13:30 ～ 16:00

こんな活動しています。活動のＰＲ。

　子どもの不登校や登校渋りに悩む保護者や教員、支援者などが集い、不登校についての理解を深め、不登校の子どもへの関り方や現在の数育のあり方などについて語り合う。
　毎月第 3 日曜日 13 時 30 分～ 16 時、主に函館市総合福祉センター「あいよる 21」で例会を開催するほか、年 1 回程度、市民向け啓発講演会を開催している。
　また、2020 年 6 月から、函館市社会福祉協議会が開設した不登校相談会 (毎月第 2 水曜日 10 時～ 12 時) に会の運営委員を相談員として派遣し、同じ悩みを持つ者同士で話し合い、解決の道を共に考えるピア活動を実施している。

活動の様子

SDGs17 の目標

道南歌人協会

代表者	齊藤　サダ	住所	〒 042-0935
連絡担当者	嵯峨　牧子		函館市駒場町 7-10
ＴＥＬ	090-6448-8639	ＦＡＸ	0138-56-8615
活動エリア	市内・道南	設立年月日	1949 年 11 月 3 日
ホームページ			
メール		活動の曜日	随時
会員数	40 名	活動の時間	

こんな活動しています。活動のＰＲ。

昭和 24（1949）年、白山友正を理事長に、宮崎郁雨、阿部たつをらを顧問にスタートしました。以来 71 年の歳月、啄木が函館に残した足跡を語り継ぎ、短歌の盛んな街にしたいと、開かれた協会を目指しています。
公募短歌大会では学生賞も設けていますので、ぜひ挑戦してください。

第 71 回函館市文化賞を受賞しました。長年の活動とともに、平成元年から開催している青函交流などによる短歌の啓蒙活動等が認められました。

① 年 4 回の短歌大会
　ア、啄木追慕短歌大会
　イ、みなみ北海道〈公募〉短歌大会
　ウ、青函交流短歌大会（青函交互開催）
　エ、文化祭協賛短歌大会　(隔年開催)　　※イとウは一般公募
② 道南歌人協会賞　短歌 10 首競詠
③ 市民文化祭　色紙展示（一般公募、学生賞作品含む）
④ 会報「風紋」発行

活動の様子

創立 70 周年記念短歌大会

SDGs17 の目標

道南ひきこもり家族交流会「あさがお」

代表者	代表代行　安藤　とし子	住所	〒 042-0932
連絡担当者	野村　俊幸		函館市湯川町 1-25-4　野村俊幸方
ＴＥＬ	090-6261-6984	ＦＡＸ	0138-57-3041
活動エリア	道南全域	設立年月日	2003 年 4 月
ホームページ			
メール	tnomura@sea.ncv.ne.jp	活動の曜日	日 (第 2)
会員数	85 名	活動の時間	14:00 ～ 16:00

こんな活動しています。活動のＰＲ。

ひきこもり等、社会参加に不安を抱える方のいる家族や支援者などが集い、ひきこもりについての理解を深め、ひきこもっている家族への関わり方やこれからの生活のあり方などについて語り合う。

毎月第 2 日曜日 14 時～ 16 時、函館市総合保健センター 2 階会議室等で例会を開催するほか、関連する啓発セミナー等を後援している。

また、2020 年 6 月から、函館市社会福祉協議会が開設したひきこもり相談会 (毎月第 4 水曜日 10 時～ 12 時) に会の運営委員を相談員として派遣し、同じ悩みを持つ者同士で話し合い、解決の道を共に考えるピア活動を実施している。

活動の様子

SDGs17 の目標

特定非営利活動法人

NALC(ナルク） 函館はまなす

代表者	阿部　功	住所	〒 040-0013
連絡担当者	中村　仁		函館市千代台町 12-19
ＴＥＬ	0138-31-2048、090-4879-3687（中村）	ＦＡＸ	0138-31-2048
活動エリア	市内・近郊	設立年月日	1998 年 9 月 27 日
ホームページ	http://nalc.jp/　NALC(ニッポン・アクティブライフ・クラブ) 本部 、大阪市中央区常盤町 2-1-8 FG 大阪ビル 4 階		
メール	nalchakodate@mx31.tiki.ne.jp	活動の曜日	月・火・水・木・金（土・日もイベント対応します）
会員数	170 名・賛助会員 3 名、3 団体	活動の時間	10:00 ～ 15:00、随時

こんな活動しています。活動のＰＲ。

会員の資格と経験、趣味等を活用して次のようなことを実施し、生きがい活動に繋げています。自分のできる時に、できることを、できる方法により助け合い・奉仕・サークル活動等を実施し自立へ繋げます。

① 時間預託活動は、会員の活動時間、１時間に１点を預託して、他会員の手助けが必要な買い物支援（庭木の剪定・家屋等の小修理・送迎・墓参・引越し・観光案内などの時には使用できます）
② 湯川の高齢者住宅「グランメゾン迎賓館」でナルクサロン「迎賓館」を毎月第１・３・５木曜日に開催、街中を清掃する活動のほか、子育て支援などの奉仕活動を実施して、社会に貢献をしております。（今年は、新型コロナ感染防止に取り組んで、保育園、特養へ布ﾏｽｸ・ﾌｪｰｽｼｰﾙﾄﾞを寄贈しました）
③ 毎月例会と研修会・講座のほか、手芸講座・手編み教室・健康麻雀教室・晩酌交流会などのサークル活動を実施し、会員相互の楽しい交流を図るとともに、居場所の確保に取り組んでおります。
④ 毎月ナルク全国一と自慢の出来る会報を、隔月の本部会報とともに配布し、周知を図っております。
⑤ ナルク函館の活動状況の説明や、全国で一番最初に発刊した「ナルクエンディングノート」の説明と販売には、何時でも、何処へでもまいります。お声かけください。お待ちしております。

活動の様子

月例会　恵山登山

SDGs17 の目標

特定非営利活動法人

日本ＦＰ協会 道南支部

代表者	支部長 髙森　秀雄	住所	〒 060-0003
連絡担当者	エリアマネージャー 小野　貴博		札幌市中央区北 3 条西 3 丁目 1 番 札幌北三条ビル 8F
ＴＥＬ	011-252-3265	ＦＡＸ	011-272-8965
活動エリア	渡島・檜山	設立年月日	1987 年 11 月 19 日 法人設立 2001 年 7 月 2 日
ホームページ	https://www.jafp.or.jp/shibu/do-nan		
メール	dounan_bb@jafp.or.jp	活動の曜日	
会員数	203,997 名	活動の時間	

こんな活動しています。活動のＰＲ。

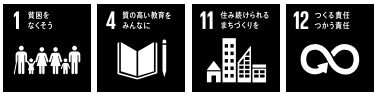
■生活者向け社会教育活動（FP フォーラム）の企画・運営
例）FP 無料体験相談会、セミナー、金銭教育など

・ファイナンシャル・プランニングを広く普及するために市民向けのセミナー（講演会）や相談会等の FP フォーラムを実施しています。
・市民の皆様が日頃感じている「くらしとお金」に関する疑問や不安について、セミナーに参加したり FP（ファイナンシャル・プランナー）に相談したりすることができ、気軽に参加できるイベントです。
・「人生 100 年時代」とも言われる現在、安心して老後を迎えるためには自分にあった人生設計（ライフプラン）をしっかり立て、将来に備えることが大切です。
ご自身やご家族のライフプランについて、FP と一緒に考えてみませんか？

活動の様子

「くらしに役立つお金のセミナー」の様子

SDGs17 の目標



特定非営利活動法人

のぞみ会函館

代表者	冨原　ふじ子	住所	〒040-0081
連絡担当者	冨原　ふじ子		函館市田家町 11-3-104
ＴＥＬ	0138-43-1446	ＦＡＸ	0138-43-1446
活動エリア	市内	設立年月日	2001 年
ホームページ			
メール		活動の曜日	日（第 3）
会員数	34 名	活動の時間	10:00~15:00

こんな活動しています。活動のＰＲ。

変形性股関節症に関する正しい知識の獲得と情報交換、生活向上のための支援などを下記のように行っています。

・意見交換・学習会・料理教室・食事会・美術鑑賞などの企画実施
・変形性股関節症者のための体操教室・水中ウォーキング教室
・NPO まつりで変形性股関節症への理解と普及啓発
・専門医や理学療法士などによる医療講演会の実施
・変形性股関節症についての会報発行

活動の様子

医療講演会

SDGs17 の目標

函館アートクラフトの会

代表者	明本　修一	住所	〒041-0835
連絡担当者	明本　修一		函館市東山 2-1-33
ＴＥＬ	0138-56-1564	ＦＡＸ	0138-56-7887
活動エリア	市内・青森県	設立年月日	2009 年 9 月 2 日
ホームページ			
メール	info@rawhide.co.jp	活動の曜日	
会員数	30 名	活動の時間	

こんな活動しています。活動のＰＲ。

手工芸の指導資格を持つ方々の団体です。

資格を生かし、町会・学校・施設などで利用者の方々に楽しんでもらえる活動をしています。

また、各々の手工芸の幅を広げていく為に横のつながりを持ち、まちづくりなどにも参加しております。

活動の様子

2019 青函ツインシティ押し花アートコンクール

SDGs17 の目標

函館映画鑑賞協会

代表者	堺田　幸恵	住所	〒 040-0025
連絡担当者	佐々木　公子		函館市堀川町 10-11
ＴＥＬ	0138-52-0193	ＦＡＸ	0138-52-0193
活動エリア	市内・北斗市・近隣町	設立年月日	1980 年 10 月 1 日
ホームページ			
メール	hakodate-eikann@ncv.jp	活動の曜日	随時
会員数	160 名	活動の時間	

こんな活動しています。活動のＰＲ。

・会員による映画の自主上映会を年 6 回程度開催、
年 1 回特別例会では映画関係者をゲストに招きトークを行う。

・映画をテーマにして話し合う感想会、交流会（シネマのテーブル、
さろんｄｅシネマなど）を行う

・他団体主催の上映会への参加、協力

活動の様子

第 35 回定期総会の模様

SDGs17 の目標

特定非営利活動法人

はこだて音の視覚化研究会

代表者	兼平　新吾	住所	〒 040-0001
連絡担当者	本多　達也、餌取　皇大、丸藤　競		函館市五稜郭町 3-15
ＴＥＬ	0138-32-4315	ＦＡＸ	0138-32-4315
活動エリア	市内、近郊、道内、関東地方	設立年月日	2007 年 9 月 28 日 法人設立 2008 年 6 月 10 日
ホームページ	https://hakomimi.net		
メール	office@hakomimi.net	活動の曜日	日・火・木・土・祝
会員数	23 名	活動の時間	10:00~16:00

こんな活動しています。活動のＰＲ。

(1) 手話コミュニケーションなどの生活支援
・公立はこだて未来大学 FUN 手話サークルと連携した手話学習、地域住民交流
(2) 音の視覚化 (情報のバリアフリー化) 研究、暮らしやすいまちづくり推進
・災害情報システム (音のイメージ、言葉のイメージに関する情報デザイン研究)
・3D 手話アニメーションを使った防災用手話学習アプリケーション開発
・ヒアリング調査 (情報デザイン開発実験によるインタビュー調査活動等)
・音の視覚化フォーラム (タウンミーティングの形で討論や講演を行う)
(3) 情報収集発信
・課題解決に必要な各種情報収集と発信活動
・ろう者や手話に関する歴史や物語資料等の図書閲覧、貸出し、機関紙発行

活動の様子

３Ｄ手話翻訳アプリ作成しました！

SDGs17 の目標

函館音楽協会

代表者	宍戸　雄一	住所	〒 041-0836
連絡担当者	函館音楽協会 事務局		函館市山の手 1-15-5
ＴＥＬ	090-2815-1936	ＦＡＸ	0138-55-1493
活動エリア	市内	設立年月日	1936 年
ホームページ	http://hako-on.com/		
メール	ha.onkyo1936@gmail.com	活動の曜日	
会員数	126 名	活動の時間	

こんな活動しています。活動のＰＲ。

5 月　春季定期演奏会（会員による演奏）
　　受賞記念演奏会（前年度　函館音楽協会賞・奨励賞受賞者による演奏）
8 月　学生コンサート（学生による演奏）
9 月　ジュニアコンサート（高校生以下の生徒による演奏）
11 月　秋季定期演奏会（会員による演奏）

活動の様子

創立 80 周年記念演奏会より

SDGs17 の目標

はこだて検定合格者の会

代表者	山本　和雄	住所	〒 049-0121
連絡担当者	山本　和雄		北斗市久根別 2-29-20
ＴＥＬ	0138-73-6871	ＦＡＸ	
活動エリア	市内・道南	設立年月日	2014 年
ホームページ	https://www.facebook.com/hakodatekenteigoukaku/		
メール	kazuoyamamoto5@yahoo.co.jp	活動の曜日	土・日
会員数	32 名	活動の時間	13:00 ～ 16:00

こんな活動しています。活動のＰＲ。

本会は、函館歴史文化観光検定（以下「はこだて検定」という）の趣旨に賛同し、はこだて検定の認知度を高め、はこだて検定の継続と受験者の知識向上の為の支援を目的としています。

本会はこの目的を達成するために、次の活動をしています。
（1）はこだて検定の周知を図り、受験者の増加及び知識の向上に役立つ活動。
（2）はこだて検定受験希望者に対する学習支援活動。
（3）はこだて検定に関わる会員の資質向上を図る為の交流や協力活動。
（4）その他、本会の目的を達成するために必要な諸活動

活動の様子

はこだて検定受験講座

SDGs17 の目標

認定特定非営利活動法人

函館視覚障害者図書館

代表者	大浅　昭夫	住所	〒 040-0063
連絡担当者	浦田　晶子		函館市若松町 33-6　函館市総合福祉センター内
ＴＥＬ	0138-23-2580	ＦＡＸ	0138-23-2580
活動エリア	全国	設立年月日	1967 年 11 月 1 日 法人設立 2009 年 3 月 10 日、認定取得 2015 年 5 月 15 日
ホームページ	http://hakoten.org/		
メール	htt@hakoten.org	活動の曜日	火・水・木・金・土
会員数	186 名	活動の時間	10:00 ～ 15:00

こんな活動しています。活動のＰＲ。

誰もが読書の楽しみを得ることは憲法でも保証されていることです。そのために、目の見えづらい方、全く見えない方などへ提供できるよう、点訳・音訳、それぞれのボランティアが熱心な活動を展開し、少しでも多くの点字本や音訳本の製作を目指しています。

また、日常生活での情報を提供したり、視覚障害者のパソコン教室を開催したり、情報機器の操作説明等を行っています。

SDGs の目標３・４を目指して、誰もが自分の興味のある分野の読書や情報を取得できるように、きめ細やかな活動をしています。今日の情報化社会において、視覚障害者が情報障害者にならないように、今後も迅速で正確な情報提供に力をいれて、活動の継続と充実をはかっていきます。

活動の様子

ソーシャルディスタンスを取りながらの点字図書製作作業

SDGs17 の目標

函館市共同募金委員会

代表者	水島　良治	住所	〒 040-0063
連絡担当者	柳谷　圭輝		函館市若松町 33-6　あいよる 21 内
ＴＥＬ	0138-23-2226	ＦＡＸ	0138-23-2224
活動エリア	市内	設立年月日	
ホームページ			
メール	yanagiya-yoshiki@hakodatesyakyo.net	活動の曜日	月・火・水・木・金
会員数		活動の時間	8:45 ～ 17:30

こんな活動しています。活動のＰＲ。

共同募金運動は、赤い羽根をシンボルとし、都道府県を単位に 10 月 1 日から翌年 3 月 31 日までの間で全国一斉に行われる民間の募金活動であり、お寄せいただいたご寄付は、子どもたち、高齢者、障がい者などを支援するさまざまな福祉活動や災答時支援に役立てられます。

地域ごとの課題解決に必要な使いみちの額を事前に定めてから寄付を募る「計画募金」という特徴があり、募金の方法も戸別、街頭等をはじめ、最近では、スポーツイベント等での興行募金やご当地ピンバッジの PR 活動も行っております。

募金による助成には、市区町村での活動を応援する地域助成と市区町村を越えた広域での活動や先駆的な活動を応援する広域助成があり、高齢者サロンの運営やボランティアといった草の根のボランティア活動等、民間の地域福祉活動を支援しています。

活動の様子

街頭募金活動

SDGs17 の目標

函館・「下北」から核を考える会

代表者	矢尾板　和子、大場一雄	住所	〒 040-0025
連絡担当者	大場　一雄		函館市堀川町 26-3
ＴＥＬ	0138-51-9718	ＦＡＸ	0138-51-9718
活動エリア	市内・青森県内	設立年月日	1986 年 9 月 6 日
ホームページ			
メール		活動の曜日	適時適所
会員数	30 名	活動の時間	

こんな活動しています。活動のＰＲ。

原子力発電所や核兵器を必要としない社会をめざして活動を続けています。
「大間原発建設差止裁判」（住民訴訟）、
「バイバイ大間原発はこだてウォーク」、
「大間原発反対現地集会＆大ＭＡＧＲＯＣＫ」など、
各団体と協力して活動しています。

最近では、2020 年 6 月に「大間原発反対一坪地主の会」所有地の草刈りを行いました。会発足から約 35 年ですが、まだまだ大丈夫です。

活動の様子

2020 年 6 月大間での草刈り後

SDGs17 の目標

函館生涯学習インストラクターの会

代表者	浜田　愃	住所	〒 041-1122
連絡担当者	奥村　茂樹		亀田郡七飯町大川 4-21-15
ＴＥＬ	090-3117-0338	ＦＡＸ	0138-65-3042
活動エリア	市内	設立年月日	2002 年 4 月 27 日
ホームページ			
メール	s.oku42115@ezweb.ne.jp	活動の曜日	木 (第 3)
会員数	16 名	活動の時間	18:30 ～ 20:00

こんな活動しています。活動のＰＲ。

・会の活動は、基本的に毎月第 3 木曜日「月例会」を開催しています。
・活動場所は、函館市青年センター 2 階
・内容は、約 1 時間 20 分を会員が自由にテーマを決めて取り組んでいます。

・会の名称は、「インストラクターの会」ですが、生涯学習に興味があれば、誰でも参加できます。
「時には学び、時には教える」ことで、少しでも視野が広がればと思っています。
・あなたもさまざまなジャンルに挑戦してみませんか？お待ちしています。

活動の様子

第 3 回「生涯学習フェア」

SDGs17 の目標

函館将棋倶楽部

代表者	本間　二郎	住所	〒 041-0852
連絡担当者	本間　二郎		函館市鍛治 1-11-1
ＴＥＬ	0138-87-1452	ＦＡＸ	0138-87-1452
活動エリア	市内	設立年月日	2005 年 7 月 11 日
ホームページ			
メール	pekkkon2@yahoo.co.jp	活動の曜日	月・火・水・金・土・日（第 3 木曜日は大会）
会員数	20 名	活動の時間	13:00 ～ 21:00

こんな活動しています。活動のＰＲ。

　囲碁、将棋の道場として、囲碁、将棋を楽しむとともに、技術の研鑽に励んでいます。（会員は近隣の高齢者が多い）

　毎月第 3 木曜日は大会を行い、懇親会等コミュニケーションも活発に行い会員のつながりを深めています。

活動の様子

NPO まつり参加の様子

SDGs17 の目標

函館人権擁護委員協議会

代表者	松谷　博子	住所	〒 040-8533
連絡担当者	岩山　靜枝		函館市新川町 25-18
ＴＥＬ	0138-26-0420	ＦＡＸ	0138-26-0420
活動エリア	市内・北斗市・七飯町・木古内町・知内町・松前町・福島町・鹿部町	設立年月日	1963 年 4 月 1 日
ホームページ	http://www.moj.go.jp/jinkennet/hakodate/hakodate_index.html		
メール	jyi44r_moj_bal@i.moj.go.jp	活動の曜日	月・火・水・木・金、ほか
会員数	51 名	活動の時間	9:00 ～ 16:30

こんな活動しています。活動のＰＲ。

　函館人権擁護委員協議会では、人権擁護委員が、地域住民の皆様一人一人の人権意識を高め、人権への理解を深めてもらうため、様々な人権啓発活動を行っています。例えば、児童、生徒及び学生に人権感覚を身に着けてもらうことを目的として「人権教室」を実施しています。

　また、地域の皆様からのいじめや差別、相隣関係のトラブルなど、様々な人権に関する相談を面接や電話、メールで受け付けしており、問題解決のお手伝いをしています。

　なお、相談者から、「人権を侵害された」という申告等を受けた場合、函館地方法務局と協力し、調査を行い、人権侵害の事実が確認された場合は、救済等の活動も行っています。

活動の様子

人権教室の様子

SDGs17 の目標

函館中途失聴者・難聴者協会

代表者	中川　ミツ子	住所	〒040-0013
連絡担当者	三好　昭博		函館市千代台町 13-4
ＴＥＬ	なし（FAX 専用のみ）	ＦＡＸ	050-3737-4593
活動エリア	市内、近郊	設立年月日	2005 年 4 月 10 日 （前身団体は、1995 年 3 月 5 日）
ホームページ	http://cyushitsukyo.seesaa.net/		
メール	hakodatenancyo@gmail.com	活動の曜日	日（月例会等）、手話練習は、火（第 2、 4）
会員数	52 名（支援者含む）	活動の時間	随時（月例会等）、手話練習は、13:00 ～ 15:00

こんな活動しています。活動のＰＲ。

　難聴者や中途失聴者（人生の途上で聞こえの悪化した方）の互助福祉団体として月１回の例会行事やコミュニケーション学習（手話習得や音声認識活用）を実施しています。手話練習は筆談を交えながら、ゆっくり進めています。

　月例会等では原則として要約筆記（日本語文字通訳）を用意する等聞こえない、聞こえにくい方も会話しやすい環境づくりをしています。

　外見で判断しづらい難聴・中途失聴の障害特性についてや、必要な情報取得手段として、要約筆記等の文字情報や聞こえを補う補聴援助機器の必要性を社会に周知啓発する活動を展開し、現状理解と協力を求めています。

　難聴者や中途失聴者（難聴の軽重は問わない）を正会員とし、様々な形で支援していただける方を賛助会員として、共に活動しています。

※耳が不自由なことやサポートの用意があることを示す「耳マーク」

活動の様子

オンライン会話体験会（要約筆記付き）

SDGs17 の目標

箱館ちんどん

代表者	今野　琴美	住所	〒042-0941
連絡担当者	今野　琴美		函館市深堀町 30-16
ＴＥＬ	090-8373-2246	ＦＡＸ	0138-42-0915
活動エリア	市内、近郊、岩手県、埼玉県川越市	設立年月日	2013 年 6 月
ホームページ	http://wwwd.ncv.ne.jp/~komitan/chindon.html		
メール	d-hikari@msb.ncv.ne.jp	活動の曜日	随時
会員数	8 名	活動の時間	

こんな活動しています。活動のＰＲ。

♪チンチンドンドン　チンドンドン～
　チンドン鳴ると　あら　不思議！
　ココロも　カラダも　踊り出す

　各施設、お祭り、イベントや災害復旧等募金活動において、チンドンパフォーマンスを行う。

　また、岩手県や川越市内の各チンドンまつりにおいて、函館 PR も行う。

活動の様子

チンドンパフォーマンス

SDGs17 の目標

函館日ロ交流史研究会

代表者	倉田　有佳	住所	〒 042-0942
連絡担当者	奥野　進		函館市柏木町 16-24
ＴＥＬ	0138-32-5517(奥野方)	ＦＡＸ	0138-32-5517(奥野方)
活動エリア	市内	設立年月日	1993 年 2 月 20 日
ホームページ	http://hakodate-russia.com/		
メール	info@hakodate-russia.com	活動の曜日	随時
会員数	34 名	活動の時間	

こんな活動しています。活動のＰＲ。

・函館を中心とした日本とロシアの交流の歴史を研究
・日ロ交流の歴史の普及・啓発にかかる市民へのＰＲ活動
（報告会、講演会、展示など）
・両国の交流の歴史に基づく交流事業の推進
・会員発表の場である研究会の開催
・会員からの寄稿による「会報」の発行など

活動の様子

2020 年 8 月の研究会の様子

SDGs17 の目標

函館の音楽と歴史を考える会

代表者	徳永　ふさ子	住所	〒 040-0011
連絡担当者	上田　智子		函館市本町 28-14
ＴＥＬ	0138-32-0825	ＦＡＸ	0138-32-0825
活動エリア	市内・道南・ドイツ	設立年月日	2012 年 6 月
ホームページ			
メール	hakodate_m@yahoo.co.jp	活動の曜日	日・火・金
会員数	40 名	活動の時間	

こんな活動しています。活動のＰＲ。

・2012 年 7 月 29 日、函館市制施行 90 周年記念事業、ヘンデル「メサイア」初稿版全曲函館演奏会（函館市文化・スポーツ振興財団と主催）
・2016 年、2018 年ドイツヴェルツブルグにて、ヘンデルヴェルディ「レクイエム」公演
・函館の三大音楽遺産
（1、縄文遺跡の楽器、2、ペリー黒船の音楽、3、西洋音楽、混声合唱発祥の地）に光をあてる
縄文コンサート、黒船、出前授業、加茂紀子＆徳永ふさ子ジャズクラシックコンサート音楽研究会にて、各種発表

活動の様子

ヴュルツブルク演奏旅行

SDGs17 の目標

函館の文学と音楽の会

代表者	細谷　悦子	住所	〒 040-0056
連絡担当者	蛯子　かなえ		函館市弥生町 23-3
ＴＥＬ	090-2074-9437	ＦＡＸ	
活動エリア	市内・北斗市・七飯町	設立年月日	1996 年 4 月 1 日
ホームページ			
メール	maachan110511@gmail.com	活動の曜日	水・日
会員数		活動の時間	10:30 ～ 12:00

こんな活動しています。活動のＰＲ。

当会は、函館市文化団体協議会の会員団体として活動しております。

・「歴史講座」は、高瀬則彦先生を講師に、多くの文学者や音楽家の人生と生きた時代背景を、興味深くわかりやすく、語っていただいております。
・「万葉集を学習する会」では、万葉の歌を通して、古に生きた過去の人達と現在の私達の共通点を楽しく話し合いながら学習しております。
・「皆さんで歌う会」として、講師細谷悦子先生による、函館にまつわる曲の解説などを勉強しながら、歌っております。今年度はルーヴル美術館のディスクを見ながら鑑賞会を催す予定になっております。
・市民文化祭の参加、会主催の講演会も開いております。
・例会では参加者にお茶のサービスがあります。

活動の様子

NPO まつり参加の様子

SDGs17 の目標

函館の歴史的風土を守る会

代表者	佐々木　馨	住所	〒 040-0005
連絡担当者	小山　直子		函館市人見町 5-46
ＴＥＬ	090-9524-6532、0138-59-5265	ＦＡＸ	0138-59-5265
活動エリア	市内・近郊	設立年月日	1978 年 4 月
ホームページ			
メール		活動の曜日	随時
会員数	85 名	活動の時間	

こんな活動しています。活動のＰＲ。

函館及び近郊の歴史的建造物や町並み・風土の保存・活用に寄与することを目的として活動しています。

1982 年に「歴風文化賞」を設け、函館の町並み形成に寄与する歴史的建造物、原風景、町並みの保存活動に取り組む団体などを選定し、表彰しています。

毎年、函館の町並みを美しくする新春チャリティーパーティーを開催しています。

小学生・中学生・高校生を対象に、伝統的建造物・歴史的街並み・路面電車などを撮影し写真を学びながら函館及び近郊の風土の素晴らしさを再発見してもらうとともに、応募全作品を展示して市民や観光客に歴史や風土の豊かさを広く理解してもらうために、毎年「ふるさと写真コンクール」と写真展を開催しています。

開港 5 都市景観まちづくり会議函館大会に実行委員会として参加しました。

活動の様子

写真コンクール展の様子

SDGs17 の目標

函館文学学校

代表者	安東　璋二	住所	〒 041-0806
連絡担当者	東間　征子		函館市美原 5-5-16
ＴＥＬ	0138-46-2852	ＦＡＸ	
活動エリア	市内	設立年月日	1973 年
ホームページ			
メール	mitu296@wing.ocn.ne.jp	活動の曜日	木
会員数	21 名	活動の時間	18:00 ～ 20:00

こんな活動しています。活動のＰＲ。

≪函館文学学校の通常予定≫
・開講式 (4 月) … 函館中央図書館で顔合わせ。受講費支払い。課題受け取る。
・詩、600 字小説作成、1400 字小説作成 (4 ～ 6 月) … 短文の練習 !
・上記の合評会 (5 ～ 6 月) … ちょっと緊張 !
・各講師の先生の講義 (5 ～ 6 月) … 核心をつく講義 !
・懇親会 (7 月) … 和やかに。本番に備えて英気を養う !
・機関誌「青の時代」作成 (～ 8 月) … 夏の本番 ! 原稿用紙 30 枚程度の作品を !
・合評会 (9 ～ 10 月) … お互いにリスペクトしながら、批評し合います !
・懇親会 (10 月) … 疲れを癒そう !
・機関誌「作品集」作成 (～ 12 月) … 冬の本番 ! 原稿用紙 50 枚程度の作品を !
・合評会 (2 月) … 喧々諤々 ! 厳しい批評も !
・終了式 (3 月) … お疲れさまでした !

活動の様子

講義風景

SDGs17 の目標

特定非営利活動法人

はこだて街なかプロジェクト

代表者	山内　一男	住所	〒 041-0851
連絡担当者	境　邦宙		函館市本通 2-21-26
ＴＥＬ	0138-55-1488	ＦＡＸ	0138-55-8107
活動エリア	市内、道南	設立年月日	2005 年 7 月 27 日
ホームページ	http://www.h-machi.com/		
メール	info@h-machi.com	活動の曜日	随時
会員数	44 名	活動の時間	

こんな活動しています。活動のＰＲ。

1、函館西部地区空き地・空き家利活用相談
2、函館西部地区のまち並み景観の取組
　① 西部地区のまち並みにマッチした看板プロジェクト
　② 屋外広告物調査
3、歴史的建物保全調査
4、歴史的建物維持・保全の為の専門技術者・育成プロジェクト

活動の様子

函館伝統的建築技術研修会

SDGs17 の目標

函館町並み資料館

代表者	寺下　浩二	住所	〒 040-0054
連絡担当者	寺下　浩二		函館市元町 10-9
ＴＥＬ	0138-83-1186	ＦＡＸ	0138-83-1186
活動エリア	市内	設立年月日	2014 年 9 月 1 日
ホームページ			
メール		活動の曜日	月・木・金・土・日
会員数	2 名	活動の時間	10:00 ～ 15:00

こんな活動しています。活動のＰＲ。

・伝統的建造物（旧三浦家）の公開
・西部地区（町並み保存地区）の調査、研究の援助
・「たてもの探訪の会」の開催（年 2 回）

活動の様子

たてもの探訪の会の様子

SDGs17 の目標

函館メサイア教育コンサート実行委員会

代表者	徳永　ふさ子	住所	〒 040-0011
連絡担当者	上田　智子		函館市本町 28-14
ＴＥＬ	0138-32-0825	ＦＡＸ	0138-32-0825
活動エリア	国内・ドイツ	設立年月日	2005 年 11 月 24 日
ホームページ	http://hakodatem.web.fc2.com/		
メール	hakodate_m@yahoo.co.jp	活動の曜日	日・火・金
会員数	40 名	活動の時間	

こんな活動しています。活動のＰＲ。

◎コンサート活動
①「函館メサイア 2006」から 2007 年、2008 年、2009 年、2010 年
ヘンデルのメサイア、バッハのロ短調ミサ曲を内外の指揮者により演奏。
近年は、2016 年、2018 年、ドイツ・ヴェルツブルグにて「メサイア」全曲、
ヴェルディ「レクイエム」公演
②「独唱とアレサンブルの会」2006 年より毎年、合唱団員による演奏会を開催。
2020 年は、10 月 3 日に芸術ホールにて演奏しました。

◎出版活動
冊子「函館開港と音楽」、ソルミゼーション楽譜「ロ短調」「第九」「サウル」
絵本「実行寺の小坊主とっ珍さんはおおいそがし」2008 年出版

活動の様子

合唱団員による演奏会

SDGs17 の目標

特定非営利活動法人

函館レクリエーション協会

代表者	野澤　信子	住所	〒 042-0933
連絡担当者	松本　伸吾		函館市湯浜町 5-36
ＴＥＬ	090-9756-9606	ＦＡＸ	0138-56-6418
活動エリア	渡島・檜山	設立年月日	1972 年 5 月
ホームページ			
メール	matumotos@hkg.odn.ne.jp	活動の曜日	随時
会員数	61 名	活動の時間	

こんな活動しています。活動のＰＲ。

・レクリエーション・インストラクター養成講座を開催し、レクリエーション指導者を育成しています。
・げんき塾では、楽しくコミュニケーションづくりや健康増進、生きがいづくりの場として開催しています。
・すぐ役に立つ福祉レクリエーション研修会を開催し、現場で役立つスキル習得の支援をしています。
・レクリエーション指導者を派遣しています。
・函館市の委託を受け、スポーツ大会やボウリング大会を運営しています。
・社会福祉協議会のボランティア活動や公園フェスティバル等で、レクリエーション活動を提供しています。

活動の様子

レクリエーションゲーム

SDGs17 の目標

一般財団法人

函館 YWCA

代表者	廣部　節子	住所	〒 040-0003
連絡担当者	石山 千賀子		函館市松陰町 1-12
ＴＥＬ	0138-51-5262	ＦＡＸ	0138-54-9548
活動エリア	市内・ほか	設立年月日	1949 年 10 月 1 日
ホームページ	https://www.hakodate.ywca.or.jp/		
メール	hakodate@ywca.or.jp	活動の曜日	火・水・木・金・土
会員数	97 名	活動の時間	9:30 ～ 17:30

こんな活動しています。活動のＰＲ。

函館 YWCA では、平和・環境・人権をテーマにした公益活動を中心に、子どもから大人まで幅広い世代を対象にした生涯学習活動、文化・教養・趣味を楽しむグループ活動、多様な方々を対象にした居場所づくり、季節のイベントの開催など、地域に根差したボランティア活動をしています。

また、函館の戦争にまつわる場所を解説した「はこだてピースマップ」発行、平和を考える活動・講演・イベントの企画、子どもがさまざまな暴力から自分を守るための人権教育プログラム「CAP」をはじめ、東日本大震災被災者支援も継続して行っています。

2019 年度よりカフェ＆ショップもリニューアルオープンしました。活動の多くは、ボランティア主体で企画・運営されています。献金、ご寄付、時間や得意なことのご提供など、ともに活動してくださる方をいつでも募集しております。

活動の様子

ピースプランニング委員会
平和と憲法をめぐるトークシリーズ

SDGs17 の目標

ひきこもり体験者のつどい「樹陽のたより」

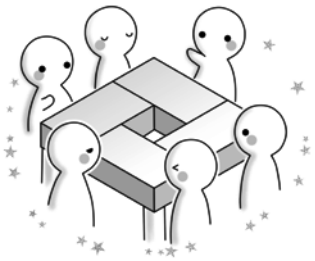
代表者	世話人　野村　俊幸	住所	〒 042-0932
連絡担当者	野村　俊幸		函館市湯川町 1-25-4　野村俊幸方
ＴＥＬ	090-6261-6984	ＦＡＸ	0138-57-3041
活動エリア	道南全域	設立年月日	2013 年ころ
ホームページ			
メール	tnomura@sea.ncv.ne.jp	活動の曜日	日 (第 2)
会員数	会員登録制なし、例会に参加した方が会員	活動の時間	11:00 ～ 13:00

こんな活動しています。活動のＰＲ。

ひきこもりを体験した方やひきこもり気味の方が集い、これまでの体験や生活上の悩み、これからの生活のあり方などについて語り合う例会を、毎月第 2 日曜日 11 時～ 13 時､函館市総合保健センター 2 階健康指導室で開催している。

また 2020 年 6 月から、函館市社会福祉協議会が開設したひきこもり相談会 (毎月第 4 水曜日 10 時～ 12 時) にメンバーを相談員として派遣し、同じ悩みを持つ者同士で話し合い、解決の道を共に考えるピア活動を実施している。

活動の様子



樹陽のたよりのメンバーの様子

SDGs17 の目標

ひまわり号を走らせる函館実行委員会

代表者	高橋　好之	住所	〒 041-0853
連絡担当者	笠原　毅		函館市中道 2-51-1
ＴＥＬ	0138-54-3113	ＦＡＸ	0138-52-4341
活動エリア	道内・東北など	設立年月日	1990 年 4 月
ホームページ			
メール	t-kasahara@donank.jp	活動の曜日	不定期
会員数	10 名 (事務局)	活動の時間	

こんな活動しています。活動のＰＲ。

「函館ひまわり号」は全国ひまわり号憲章にのっとり、障がい者･高齢者の方･みんなで一緒に旅行を楽しむ会です。

年に数回、旅行会、食事会などを企画し、出かける自信がなくなった方、一人で旅行することが困難になった方を手助けしながら、一緒に外出する、旅をするなどの活動を行っています。

一人では乗り越えられない段差、諦めていた温泉での入浴、みんなで手助けをすれば、物理的なバリアーはなくすることができます。高齢の方、障がいをもつ方、誰もが安心して住み続けられるまちづくりを目指して活動をしています。

活動の様子

2019 年旅行会（円山動物園にて）

SDGs17 の目標

フードバンク道南協議会

代表者	廣部　節子	住所	〒040-0003
連絡担当者	中森　司		函館市松陰町 27-14
ＴＥＬ	080-1897-8749	ＦＡＸ	0138-56-0756
活動エリア	市内・近郊	設立年月日	2018 年 2 月
ホームページ	http://foodbank.girty.jp/		
メール	akane-50@outlook.jp	活動の曜日	月・火・水・木・金
会員数	10 名	活動の時間	10:00 ～ 17:00

こんな活動しています。活動のＰＲ。

毎年、食べられるのに廃棄されている食品ロスは、年間 500 ～ 800 万トンにのぼると推計されています。これは、日本の米の生産量に匹敵します。

私たちは処分せざるを得ない食べ物を有効活用することにより、食料を無駄にせず、食を分かち合い、命・人権を守るため、各方面の団体の協力を得、2018 年 2 月、フードバンク道南協議会を設立しました。

フードバンクを地域に仕組みとして定着させ、食を通じて人の縁を結び、お互いが助け合う「困ったときはお互い様」な社会づくりを目指します。

主な食品配付先・・・児童養護施設、子ども食堂、障がい児のための放課後等デイサービス、女性・青少年のための自立支援施設、更生保護施設、生活困窮者支援団体

活動の様子

みなさまから届いた食料品

SDGs17 の目標

特定非営利活動法人

北斗スポーツクラブ

代表者	千秋　栄	住所	〒049-0152
連絡担当者	山内　堅		北斗市押上 1-3-1（北斗市総合体育館内）
ＴＥＬ	0138-73-6481	ＦＡＸ	0138-73-6413
活動エリア	北斗市	設立年月日	2015 年 3 月
ホームページ	http://hokuto-noss.net/		
メール	info@hokuto-noss.net	活動の曜日	月・火・水・木・金・土・日
会員数	208 名	活動の時間	9:00 ～ 21:00

こんな活動しています。活動のＰＲ。

子どもから高齢者までの多世代が、いつでもどこでも楽しくスポーツできる環境をめざしています。

北斗市体育施設指定管理受託業者として、北斗市のスポーツ振興や健康促進に寄与いたします。

【今年度事業及び事業予定】
・定期スクール
　ヨーガ・ヒップホップ・サッカー・体操・新体操・バレーボール
・クラブ活動
　北斗 FC ノース・NOSS 体操クラブ・NOSS 新体操クラブ
・健康増進事業
　・ZUMBA・InBody 測定＆運動教室・体にやさしい健康講座
　・うんどう広場 など

活動の様子

「InBody 測定＆運動教室」の様子

SDGs17 の目標

公益財団法人

北海道移植医療推進財団

代表者	柴田　龍	住所	〒 060-0061
連絡担当者	田村　弘侯		札幌市中央区南 1 条西 16 丁目 1-246 ANNEX レーベンビル内
ＴＥＬ	011-590-0217	ＦＡＸ	011-590-0617
活動エリア	北海道全域	設立年月日	2017 年 4 月 1 日
ホームページ	http://www.hokkaido-tpc.org/		
メール	h-isyoku@hokkaido-tpc.org	活動の曜日	月・火・水・木・金
会員数	200 名	活動の時間	9:00~16:00

こんな活動しています。活動のＰＲ。

　移植医療は、移植を必要とする人と善意の提供者がいて成り立つ特別な社会的医療です。財団は移植医療が北海道民にしっかりと理解され、普及・定着する事を目指しています。

〇運営方針

・財団は、広大な北海道の移植医療を効率的に推進するため、日本臓器移植ネットワーク及び北海道との連携を図り両組織の活動支援を目的としています。

・平成 29 年 4 月、『北海道を移植医療の先進地域に !』の思いを一つにするため、「北海道腎臓バンク」(活動歴 30 年) と「北海道移植医療推進協議会」(活動歴 20 年) が組織統合、現組織となりました。

〇 活動内容　上記を達成するため、次の委員会が中心となり、4 つの本支部（札幌・旭川・道東・道南) において事業活動を展開しています。

① 移植医療委員会 (医療関係者や医療機関の連携を深めるための活動)

② 移植者委員会 (移植医療当事者の視点を生かすための活動)

③ 総務企画委員会 (臓器提供や移植医療に関する道民の理解を深めるための普及活動)

活動の様子

全道高校対象「出前講座」実施

SDGs17 の目標

一般社団法人

北海道言語聴覚士会 道南支部

代表者	小林　文代	住所	〒 041-8680
連絡担当者	田村　奈緒		函館市港町 1-10-1　市立函館病院 リハビリ技術科
ＴＥＬ	0138-43-2000	ＦＡＸ	0138-43-4426
活動エリア	道南（渡島檜山管内）	設立年月日	2016 年 1 月 15 日
ホームページ	http://www.st-hokkaido.jp/		
メール	n-tamura@hospital.hakodate.hokkaido.jp	活動の曜日	随時
会員数	33 施設、所属言語聴覚士数 104 名	活動の時間	

こんな活動しています。活動のＰＲ。

　言葉によるコミュニケーションには言語、聴覚、発声・発語、認知などの各機能が関係し ていますが、病気や交通事故でこのような機能が損なわれることがあったり、発達の遅れ や偏りによって支障をきたす場合もあります。

　言語聴覚士は、言葉によるコミュニケーションに問題のある方に専門的にサービスを提供し、自分らしい生活を構築できるよう支援する専門職です。

　また、摂食・嚥下（食べること・飲み込み）の問題にも専門的に対応します。乳幼児から高齢者まで幅広く関わっています。

　一般社団法人　北海道リハビリテーション専門職協会（HARP）を通じて、地域での講師活動などもおこなっています。

活動の様子

人権教室の様子

SDGs17 の目標

特定非営利活動法人

北海道坂本龍馬記念館実行委員会

代表者	三輪　貞治	住所	〒 040-0053
連絡担当者	柳田　善徳		函館市末広町 8-6
ＴＥＬ	0138-24-1115	ＦＡＸ	0138-24-1116
活動エリア	市内（コンクールの作品募集は全国対象）	設立年月日	2001 年 11 月 19 日
ホームページ	http://www.ryoma1115.com		
メール	ryoma1115@amail.plala.or.jp	活動の曜日	月・火・水・木・金・土・日
会員数	15 名	活動の時間	8:00 ～ 18:00

こんな活動しています。活動のＰＲ。

「函館から、新しい国づくりに貢献する」という理念のもと、主に以下の活動をしています。

- 北海道坂本龍馬記念館の運営
- 全国龍馬コンクール（イラスト・書道・手紙の３部門）の開催
- 龍馬祭（毎年 11 月）の施行

活動の様子

北海道坂本龍馬記念館内

SDGs17 の目標

公益社団法人

北海道理学療法士会　道南支部

代表者	森山　武	住所	〒 041-0853
連絡担当者	河本　貴行		函館市中道 2-51-1
ＴＥＬ	0138-54-3113（リハビリ部）	ＦＡＸ	0138-52-4341
活動エリア	道南	設立年月日	1997 年
ホームページ	http://www.pt-hokkaido.jp/ch_donan/		
メール	takayukik5@hotmail.com	活動の曜日	
会員数	552 名	活動の時間	

こんな活動しています。活動のＰＲ。

我々理学療法士は、「運動や動作」に障がいを持たれた方やその予防を必要としている方の運動機能の回復を支援しております。また、障がいを持たれた方の地域での生活支援にも携わっています。

最近では、市民マラソンや高校野球などスポーツ場面でのサポートを含め、幅広い領域で活動を行っています。理学療法という手段を通して「日常生活活動（ADL）」の改善を図り、最終的には「生活の質（QOL）」の向上を目指しています。

2019 年度の活動

- 函館マラソン・高校野球の道南大会でのメディカルサポート
- ダイハツ工業と共同事業　高齢者の運転支援活動
- NPO まつりでの運動能力チェックと健康相談
- 蔦屋書店　はこだてマルシェでの職業体験イベント
- 北海道リハビリテーション専門職協会の一員として、各種介護予防事業への参画

活動の様子

ダイハツ工業との共同事業
高齢者への運動指導の様子

SDGs17 の目標

南北海道創才教育推進会

代表者	山﨑　文雄	住所	〒 040-0013
連絡担当者	松川　文弥		函館市千代台町 11-6　数学塾内
ＴＥＬ	0138-83-6088	ＦＡＸ	0138-83-6088
活動エリア	市内・七飯・道南	設立年月日	2006 年 5 月 15 日
ホームページ			
メール	sousaikyouiku@hotmail.co.jp	活動の曜日	セミナー (年 2 回、日中)、会合 (年 5 回 19:00 ～)
会員数	51 名	活動の時間	

こんな活動しています。活動のＰＲ。

当会は、
- 世界的数学者 広中平祐先生の教育哲学「創才」(隠れた才能を発見し創り育てること) に基づいた教育を推進する
- 当会の源流である団体「函館圏湧源教育構想実現推進会」による市民運動の流れから設立された公立はこだて未来大学と市民との交流・親睦をはかることを通して、郷土と日本の人材育成に貢献することを目的として設立されました。
- 小中学生を対象として、世界に通用する人材となるための基礎のひとつである算数・数学の楽しさを実感できる「創才セミナー」を開催しています。

平成 18(2006) 年 8 月　第一回創才セミナー開催 (以後毎年開催)
平成 22(2010) 年 10 月「未来大学の先生がたと夢を語りあう会」開催
平成 23(2011) 年から 算数オリンピック・トライアル地方大会の開催に協力
平成 25(2013) 年から「算数オリンピックにチャレンジ !」セミナー開催

活動の様子

創才セミナーの様子

SDGs17 の目標

特定非営利活動法人

みんなのさぽーたー わっとな

代表者	山口　照美	住所	〒 041-0853
連絡担当者	山口　照美		函館市中道 1-35-35
ＴＥＬ	0138-86-6515	ＦＡＸ	0138-86-6515
活動エリア	市内・北斗市・七飯町	設立年月日	2007 年 8 月
ホームページ	http://wattona.net		
メール	watona@opal.plala.or.jp	活動の曜日	月・火・水・木・金・土
会員数	77 名	活動の時間	9:00 ～ 19:00

こんな活動しています。活動のＰＲ。

障がいのある子どもたちが、地域の人たちと手を取り合い、共に助け合いながら、地域で自立できる場を少しずつ広げていくことを目的に、障がい児の母親達と心優しいサポーターが集まり設立しました。

当法人では、**「放課後児童クラブらるご」**、**「児童デイサービスすきっぷ」**、**「児童デイサービスらぴす」**、**「児童デイサービスぷれお」**、**「生活介護事業所ぷれおプラス」**の５つの事業所で支援・サービスを行っています。

らるごは小学 1 年生～ 6 年生、すきっぷ・らぴす・ぷれおは小学 1 年生～高校 3 年生、ぷれおプラスは 18 歳以上の方が対象の施設となっており、利用者の方ひとりひとりに合わせた活動を考え、提供しています。

また、親子レクリエーションや会員向けの研修会の開催、地域バザーへの参加や親子一緒に楽しみながらストレッチ・ダンスなど無理なく身体の使い方を学ぶ**「わっとなクラブ」**も開講しています。

活動の様子

児童デイサービスでの活動の様子

SDGs17 の目標

喪の悲しみを癒やす会

代表者	中野　恵美	住所	〒 041-0806
連絡担当者	中野　恵美		函館市美原 2-41-3
ＴＥＬ	0138-46-2777	ＦＡＸ	0138-46-2777
活動エリア	市内	設立年月日	2003 年 9 月 21 日
ホームページ			
メール		活動の曜日	日
会員数	自由参加（会員制ではありません）	活動の時間	13:00 ～ 16:00

こんな活動しています。活動のＰＲ。

人生における様々な喪失感からの立ち直りをカウンセリングにより支援、支持いたします。参加される方々の喪失感は様々です。

内容を限られた時間ですが、傾聴し、否定する事なく、肯定的に対応し、参加者の方の心の中にわき起こる気づきを待ちます。

年令・性別、不問です。

活動の様子

NPO まつり参加

SDGs17 の目標

ゆうとぴあ友の会

代表者	石井　京子	住所	〒 040-0044
連絡担当者	石井　京子		函館市青柳町 21-6
ＴＥＬ	0138-26-7045	ＦＡＸ	0138-26-7045
活動エリア	市内	設立年月日	1989 年 6 月 23 日
ホームページ			
メール		活動の曜日	土
会員数	10 名	活動の時間	

こんな活動しています。活動のＰＲ。

はがきや食事会で独居高齢者を励ます活動をしています

函館で暮らす独居高齢者を気遣い定期的にはがきを送り、食事会を開いて交流を図っている。

立ち上げは 1989 年 6 月 23 日、60 ～ 70 歳代の女性を中心に活動は、70 ～ 100 歳代の約 20 人の独居高齢者へのはがきの送付。毎月欠かさないほか、暑中見舞いや年賀状を送っている。

担当する女性会員は、10 人が自宅で、1 人 2、3 枚平均に書いている。独居高齢者が独居を感じないで、元気に暮らせるように励ましのメッセージなどをしたため、視力が衰えた人でも読みやすいように大きな字で文字を伝えている。気がかりのある登録者に電話をかけたりしている。

年 2 回春・秋に市内ホテル等で登録者を迎え、親睦を深めるための食事をしながら活動している。

活動の様子

親睦会

SDGs17 の目標

レインボーはこだてプロジェクト (RHP)

代表者	北見　伸子	住所	〒 040-0054
連絡担当者	遠藤　遥奈		函館市元町 2-3　まるたま小屋
ＴＥＬ	0138-76-3749	ＦＡＸ	
活動エリア	市内	設立年月日	2018 年 10 月 1 日
ホームページ	https://rainbowhakodate.wixsite.com/rainbow		
メール	rainbow.hakodate@gmail.com	活動の曜日	火
会員数	15~30 名 (プロジェクト制のため変動あり)	活動の時間	18:30 ～ 21:00

こんな活動しています。活動のＰＲ。

レインボーはこだてプロジェクト（RHP）は、性的少数者（LGBT）への理解促進に関する活動を行うことを通じて、多様な人々が自分らしく暮らし、自己実現できるような地域づくりに取り組んでいます。

2019 年 6 月 15 日～ 16 日には、函館蔦屋書店で「LGBT フレンドリーなまちへ　虹をはいて歩こう」と題した啓発イベントを開催しました。2020 年 11 月 28 日～ 29 日には 2 回目を実施しました。

また、2020 年 1 月 25 日は、「レインボーはこだてシアター vol.1」を開催し、映画『愛と法』の上映会とトークセッション「しゃべろう同性婚」を実施しました。こちらも 2021 年 1 月に 2 回目を実施する予定です。

RHP は、LGBT について考えることで、誰もが多様なプライドを身につけ、個人も社会も成長することを目指しています。日本初の開港都市の一つとして、多様な文化を受け入れながら発展してきた函館でこそ、活動を通じてそのモデルをつくっていけると信じています。

活動の様子

虹をはいて歩こう

SDGs17 の目標

一般社団法人

ワールズ・ミート・ジャパン

代表者	イアン・フランク、ソガ　直人	住所	〒 040-0053
連絡担当者	福田　琢磨		函館市末広町 9-9
ＴＥＬ	0138-27-7081	ＦＡＸ	0138-86-6706
活動エリア	市内	設立年月日	2007 年
ホームページ	http://wmdf.org/		
メール	wmdf@wmdf.org	活動の曜日	月・火・水・木・金
会員数	4 名	活動の時間	10:00 ～ 18:00

こんな活動しています。活動のＰＲ。

一般社団法人ワールズ・ミート・ジャパンは、「はこだて国際民俗芸術祭」を主催する非営利の団体です。芸術祭では、世界のアーティストが 1 週間あまりにわたって函館に滞在し、伝統的建造物が建ち並ぶ「元町公園ステージ」を中心に、公演や体験型ワークショップなど様々なイベントを行います。

これまで累計 2,200 人以上の海外アーティストを函館に招へいし、過去 360,000 人以上を動員する、民俗芸術の分野では国内最大級を誇る夏の大型野外フェスティバルです。

芸術祭を開催するにあたり、ボランティア・協賛など、多くの方々の力が必要です。芸術祭スタッフの合言葉は『人生を変える経験』。ともに暑い夏を過ごして、心が通じ合う仲間を見つけませんか？

詳しくは HP をご覧ください。

活動の様子

会場の元町公園と客席からの夜景

SDGs17 の目標

持続可能な社会をつくる！SDGs（エスディージーズ）

SDGsってなに？

- SDGsは「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」です。
- 2015年9月に国連持続可能な開発サミットで採択された**「持続可能な開発のための2030アジェンダ：我々の世界を変革する」**の中核をなす世界共通の目標です。
- 2030年の達成を目指し、17のゴールと169のターゲットから構成されています。経済・社会・環境それぞれの課題が統合的に解決されるよう、私たちみんなで取り組む目標です。
- 地球上の弱い立場の人々にも焦点を当て、「誰一人取り残さない（no one will be left behind）」という理念を掲げています。

「持続可能な開発」って、どういうこと？

「今も、未来も、同じようにより良く暮らせるように」ということだよ！

SDGs17の目標

目標1　あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ
目標2　飢餓をゼロに
目標3　あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する
目標4　すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する
目標5　ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る
目標6　すべての人々に水と衛生へのアクセスを確保する
目標7　手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する
目標8　すべての人々のための包摂的かつ持続可能な経済成長、雇用およびディーセント・ワークを推進する
目標9　レジリエントなインフラを整備し、持続可能な産業化を推進するとともに、イノベーションの拡大を図る
目標10　国内および国家間の不平等を是正する
目標11　都市を包摂的、安全、レジリエントかつ持続可能にする
目標12　持続可能な消費と生産のパターンを確保する
目標13　気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る
目標14　海洋と海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する
目標15　森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る
目標16　公正、平和かつ包摂的な社会を推進する
目標17　持続可能な開発に向けてグローバル・パートナーシップを活性化する

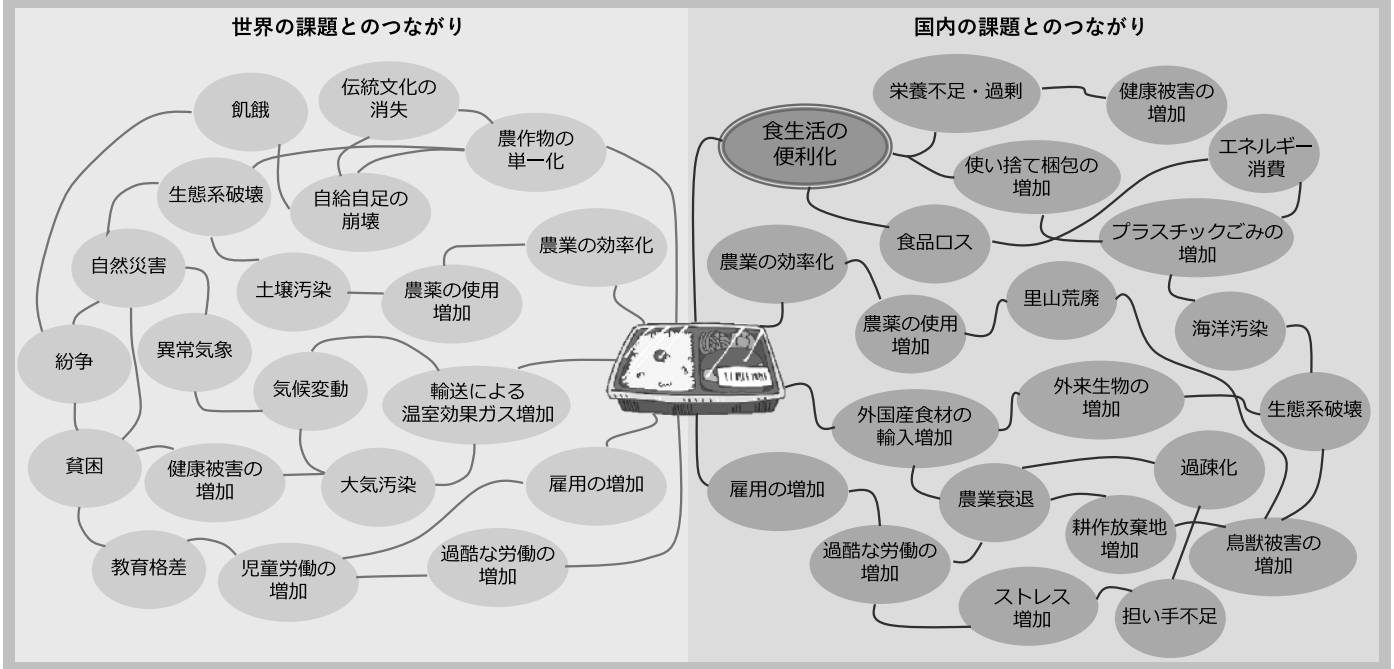
私たちも取り組む必要があるの？

私たちの暮らし方は、地球上で使える資源の量や環境を維持できる許容範囲を超えています。世界の人々の生活を支えるためには、1.6個分の地球が必要であるといわれています。

気候変動や生態系の保全など環境に関わる課題だけではなく飢餓や貧困、人権問題など深刻な社会課題も存在します。そして、これらは他の問題と相互に絡みあっており、解決を難しくしています。そのことを理解し、パートナーシップに基づいて身近な地域や社会を変えていくことが、世界や未来の持続可能性を高め、SDGsの達成につながります。

（WWF 2020年8月の記事より：https://www.wwf.or.jp/activities/news/4390.html）

暮らしに身近である「お弁当」を例に挙げて、
経済・社会・環境の課題とのつながりを見てみましょう！



引用：地球環境パートナーシッププラザ、2019
「SDGs達成に向けた持続可能な地域の創り手を育む学びの場づくり ガイドブック」

2030年の地球は、どのような姿ですか？
どのような環境や社会を将来の世代に残したいのか、そのためには
何ができるのか、SDGsをきっかけにみんなで考えてみましょう。

※ この記事は、EPO北海道が作成したSDGs普及啓発ポスター「持続可能な社会をつくる!SDGs」をもとに作成しました。

環境省北海道環境パートナーシップオフィス（EPO北海道）

持続可能な社会づくりを目的とした、環境保全活動を推進している拠点です

ホームページ　https://epohok.jp/
メールアドレス　epoh-webadmin@epohok.jp　TEL：011-596-0921
普及啓発ポスター　https://epohok.jp/act/info/10933

ホームページ　普及啓発ポスター

高橋 優介の SDGs アクション

「SDGsはやっぱり遠いもの？・・・いや、ライフスタイルを見つめ直す大チャンス！！」

SDGs に関するご意見として多いのが「やっぱり SDGs は世界のことで遠いよね」というヒトコト。SDGs が非常に遠い世界のことで、自分に関係ない。ましてや、うちの地域や会社でなんかアクションしても意味がないから関係ないと。

はたして本当にそうなのか。期間の差はあるにしろ、未来のことを考えない方なんていない。そこで大切にするべき考え方が**「持続可能な社会」**とは何かということ。

『こどもたち、孫たちの幸せを奪うことなく、自分たちの幸せをどう追求するか』

すなわち、「温かい未来のために今この瞬間、疲弊しても仕方ない」ではなく、**「未来も今も温かい社会をつくるため」**にはどうしたらよいのかを考えることが大切なのではないか。

その壁を乗り越えてみるには「まずやってみる」という心がけが大切。頭の中で想像するだけではなく、まずアクションしてみて〝味見〟をする。自分に合うかどうかもわからないままでは、自分に何が響くかわからない。みなさん食わず嫌いになってないですか？

札幌のある IT 企業では、社会の出来事のつながりを体感するべく、家を出てから帰るまでプラスチックごみを出さなかったら 1 ポイント（＝500 円相当の会議費として使用できる）が与えられる仕組みを作った。部内の懇親や勉強会の費用などはもちろん、取引先との打合せ時の飲食代に使かえるとのこと。

自身の取り組みがダイレクトに返ってくることはもちろん、家族や周囲の人にも SDGs の取り組みが伝わり、加えて取引先への話題提供にもなる。さらに SDGs に対してのアクションを含む新規事業の創出でビジネスチャンスにもつながる。

発案した社長は「どう社員などに響くのかわからないが、今やり始めないと誰も幸せにならない可能性が高い。だからまずやってみて感じてみたい。」と話していらっしゃいました。

社会での出来事に関心がない、気になってはいるが気付かないふりをしている人が多い世の中だが、コロナ禍で社会での様々な出来事に関心がもたれやすい状況になっている。

社会の出来事を当事者として考えることができ、自分事と考える人が増えてきているのではないか。ソーシャルアクションをする側、される側の区別がなくなった（当事者性が高まった）のでしょうね。

ただ行動するのではなく、**「自分は何を大切にしてこれからの人生を歩むのか」**と意識を変容させ自分事にする大きな転換点を我々は迎えているのかもしれない。

『自分の心は何に揺り動かせられるのか』

自身や家族のこれからのライフスタイルをどう描くのか、見つめ直す良い機会と考えると、SDGs もそんなに遠くないものだと思いますね。

高橋 優介 （ワークショップデザイン describe with 代表）

SDGs・社会貢献・若者・まちづくりなどのワークショップを北海道中心に全国で展開

◆学校：SDGs やソーシャルアクションをワークショップや課題研究で体感する
◆企業：職員研修をはじめ、事業に SDGs・CSR をどう入れていくのか
◆行政：これからの地方創生に欠かせない SDGs を地域とどうつなげていくのか
◆NPO：ソーシャルグッドを創出するための持続可能なアクションをサポート

ホームページ

函館市におけるSDGsの推進

函館市のめざすべきまちの将来像実現に向け、2017年に策定した「函館市総合計画」に掲げる「5つの基本目標」と「20の施策」はSDGsのめざす目標とその方向性を同じくするものであり、基本構想に基づく個別行政分野における各種施策がSDGsの推進につながるものと考えています。

このことから、総合計画をはじめ、個別行政分野における施策の基本方針を定める計画等の策定または改訂にあたっては、世界共通の目標であるSDGsとの関連性を明確にするなどSDGsの視点を反映するとともに、各種計画の方向性等をわかりやすく市民の皆さまへ周知していくこととしています。

函館市と市民活動団体が協働することで、みなさまのめざすべきまちの将来像を実現していきましょう。

函館市総合計画の施策

基本目標１
まちの賑わいを再生し未来へ引き継ぎます
1、 観光・コンベンションの振興
2、 農林水産業の振興
3、 商工業の振興
4、 新産業の創出と企業立地の促進
5、 学術研究機能の充実

基本目標２
子ども・若者を育み希望を将来へつなぎます
6、 子ども・子育て支援の充実
7、 学校教育・高等教育の充実
8、 若者への支援の充実

基本目標３
いつまでも生き生きと暮らせるまちをめざします
9、 暮らしを支える福祉の充実
10、生きがいづくり・健康づくりの推進
11、安全に暮らせる市民生活の確保
12、安定した雇用の維持・創出

基本目標４
日本一魅力的なまち函館を次世代へ継承します
13、魅力ある景観・町並み・市街地の形成
14、文化芸術の振興と町並みの継承
15、国際化と地域間交流の推進
16、陸・海・空の交通網の充実

基本目標５
持続可能な都市の基盤を構築します
17、社会基盤施設の機能維持
18、公共交通の再編
19、防災対策の充実
20、環境保全の推進

引用：函館市 HP（「持続可能な開発目標（SDG s）」について）
https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2019082900106/

函館市総合計画とSDGsの目標の関係（１）

1 貧困をなくそう
3、商工業の振興
4、新産業の創出と企業立地の促進
6、子ども・子育て支援の充実
8、若者への支援の充実
9、暮らしを支える福祉の充実

2 飢餓をゼロに
1、観光・コンベンションの振興
2、農林水産業の振興
3、商工業の振興
4、新産業の創出と企業立地の促進
6、子ども・子育て支援の充実

3 すべての人に健康と福祉を
6、子ども・子育て支援の充実
8、若者への支援の充実
9、暮らしを支える福祉の充実
10、生きがいづくり・健康づくりの推進
11、安全に暮らせる市民生活の確保
12、安定した雇用の維持・創出
17、社会基盤施設の機能維持
20、環境保全の推進

4 質の高い教育をみんなに
5、学術研究機能の充実
6、子ども・子育て支援の充実
7、学校教育・高等教育の充実
8、若者への支援の充実
9、暮らしを支える福祉の充実
10、生きがいづくり・健康づくりの推進
12、安定した雇用の維持・創出
14、文化芸術の振興と町並みの継承文化芸術
20、環境保全の推進

5 ジェンダー平等を実現しよう
6、子ども・子育て支援の充実
7、学校教育・高等教育の充実
11、安全に暮らせる市民生活の確保

函館市総合計画とSDGsの目標の関係（２）

5 ジェンダー平等を実現しよう

6、子ども・子育て支援の充実
7、学校教育・高等教育の充実
11、安全に暮らせる市民生活の確保

6 安全な水とトイレを世界中に

2、農林水産業の振興
17、社会基盤施設の機能維持
20、環境保全の推進

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

20、環境保全の推進

8 働きがいも経済成長も

1、観光・コンベンションの振興
2、農林水産業の振興
3、商工業の振興
4、新産業の創出と企業立地の促進
5、学術研究機能の充実
6、子ども・子育て支援の充実
8、若者への支援の充実
9、暮らしを支える福祉の充実
12、安定した雇用の維持・創出
14、文化芸術の振興と町並みの継承

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

3、商工業の振興
4、新産業の創出と企業立地の促進
5、学術研究機能の充実
9、暮らしを支える福祉の充実
13、魅力ある景観・町並み・市街地の形成
16、陸・海・空の交通網の充実
17、社会基盤施設の機能維持
20、環境保全の推進

10 人や国の不平等をなくそう

9、暮らしを支える福祉の充実

11 住み続けられるまちづくりを

1、観光・コンベンションの振興
7、学校教育・高等教育の充実
8、若者への支援の充実
9、暮らしを支える福祉の充実
10、生きがいづくり・健康づくりの推進
11、安全に暮らせる市民生活の確保
13、魅力ある景観・町並み・市街地の形成
14、文化芸術の振興と町並みの継承
15、国際化と地域間交流の推進
16、陸・海・空の交通網の充実
17、社会基盤施設の機能維持
18、公共交通の再編
19、防災対策の充実
20、環境保全の推進

12 つくる責任つかう責任

1、観光・コンベンションの振興
7、学校教育・高等教育の充実
8、若者への支援の充実
9、暮らしを支える福祉の充実
10、生きがいづくり・健康づくりの推進
11、安全に暮らせる市民生活の確保
13、魅力ある景観・町並み・市街地の形成
14、文化芸術の振興と町並みの継承
15、国際化と地域間交流の推進
16、陸・海・空の交通網の充実
17、社会基盤施設の機能維持
18、公共交通の再編
19、防災対策の充実
20、環境保全の推進

13 気候変動に具体的な対策を

2、農林水産業の振興
19、防災対策の充実
20、環境保全の推進

14 海の豊かさを守ろう

2、農林水産業の振興
4、新産業の創出と企業立地の促進
5、学術研究機能の充実
20、環境保全の推進

15 陸の豊かさも守ろう

2、農林水産業の振興
20、 環境保全の推進

16 平和と公正をすべての人に

6、子ども・子育て支援の充実
7、学校教育・高等教育の充実
8、若者への支援の充実
11、安全に暮らせる市民生活の確保

17 パートナーシップで目標を達成しよう

1、観光・コンベンションの振興
6、子ども・子育て支援の充実
7、学校教育・高等教育の充実
8、若者への支援の充実
9、暮らしを支える福祉の充実
11、安全に暮らせる市民生活の確保
13、魅力ある景観・町並み・市街地の形成
15、国際化と地域間交流の推進

函館市の具体的な取組について

函館市環境基本計画［第３次計画］
https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2020033100148/

HPはこちら

大鎌電気株式会社　SDGsの取り組み

会社概要	
■会社名	大鎌電気株式会社
■本社所在地	〒041-0806 北海道函館市美原３丁目３６－５
■電話番号	0138-46-1378
■FAX番号	0138-47-0198
■代表者	大鎌 幸雄
■設立年月日	1945年10月
■資本金	2,000万円
■従業員数	25名（うち女性8名32%） 平均年齢：33.2歳　※2020年4月現在
■業務内容	●電気設備工事 ●空調設備工事 ●省エネ・コスト削減・省エネ補助金の提案事業 ●自家消費型太陽光の提案事業

重点施策

【福利厚生】

定年を迎えた社員にお礼と老後の生活への安心というカタチで、**終身の医療・介護保険**を会社からプレゼントします。また、福利厚生クラブに加入しており、日常生活でも**食事や雑貨品の割引**が受けられます。

【教育制度】

様々な教育制度を導入しています。Webを通じたビデオ研修や、積極的にIoT技術を取り入れ、**新人の方でも業務に関わっていけるような環境づくり**に取り組んでいます。

【環境への取り組み】

お客様のニーズに合わせた電気工事や省エネ工事をご提案しております。また、社内においては**ペーパーレス化**や**IoT・AI・省エネ機器の導入**など、積極的に環境問題に取り組んでいます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS × Electronic Company Ookama

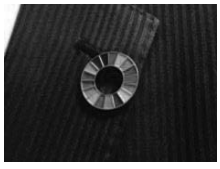
私たちは持続可能な開発目標を支援しています。

社内にSDGs推進室を設置！

SDGsに関する書籍などを置いており、自由に閲覧できます。ここから社内のSDGsを推進しています。

全社員にSDGsバッジを支給！

社員の意識向上とともに、企業としてSDGsをPRしています。



勉強会やセミナー参加！

まちづくりセンター
センター長 丸藤 競 氏を講師にお招きし、社内でSDGsの学習会を開催しました。
また、社外のセミナーにも積極的に参加しています。

建屋に看板を設置！

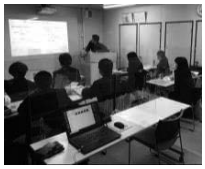
看板を設置することで外部にも広く発信しています。

充実した福利厚生！

在職中の保険だけではなく、終身の医療・介護保険の他、GLTD保険やがん保険など、もしもの時のための保険制度も充実しています。
様々な福利厚生制度を通じて、社員が安心して働くことのできる環境を作っています。

様々な教育制度！

大鎌電気では、社員の技術力向上のために、研修ルームを設けています。座学スペースをはじめ、実際に施工練習などができる、実技ルームもあります。
そこで新人研修はもちろんの事、社員も一緒に学び合いながら、それぞれの技術を高めるために練習しています。



住みやすいまちづくり！

地域貢献の一環として、会社周辺の清掃活動を行っています。
また、森町の公園のグラウンドに設置されているライトの清掃ボランティアも行いました！

函館市地域交流まちづくりセンター　SDGsの取り組み

NPO まつりで！

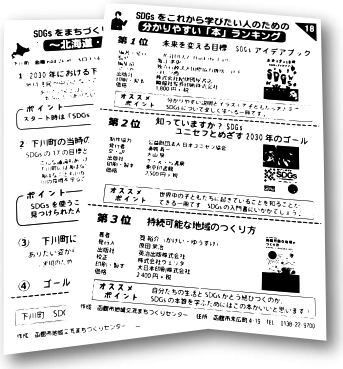
大盛況！！

年に一度開催の「NPOまつり」は
道南のNPO団体や市民活動団体が一堂に会し、
自分達の活動を紹介し、共感できる仲間を見つけ、
他団体と協働をするきっかけづくりの場です。

2019 年「 第 15 回NPOまつり 」事前説明会の際に
SDGsの勉強会を行い、イベント当日はSDGs一色！
各ブースやポスターに関係するSDGsのアイコンを
使い活動の “ 見える化 ” を図りました。
また、子ども達も楽しめるようにゲームコーナーを
設置しスタッフと一緒にSDGsについて学びを深めました。

2020 年は新型コロナウイルス感染拡大防止の為
開催を中止しましたが、市民活動団体の皆さんの
日頃の活動をPRする機会としてポスター展を行いました。

市民活動 WEB ポスター展（2020）を同時開催しています。
URL：http://hakomachi.com/townnews3/npo-fes/npo-poster-ten2020/



学びの場を！

各組織や個人の生活でSDGsを活用するための
第一歩は「知る」ことから！ということで
感染症予防に注意し、2020 年も勉強会を開催。
『自分の行動がもたらす影響について考えました』
『周りの人の幸せがどうかが大切だと再認識した！』
といった感想をいただきました。

まちセン 3 階にはSDGsの基本や理念を知ることが
できるコーナーを設けています。※掲示物は適宜更新。
写真のまちづくりの宝箱にはSDGs入門編のチラシを
用意しています。ご自由にお持ち帰りください。

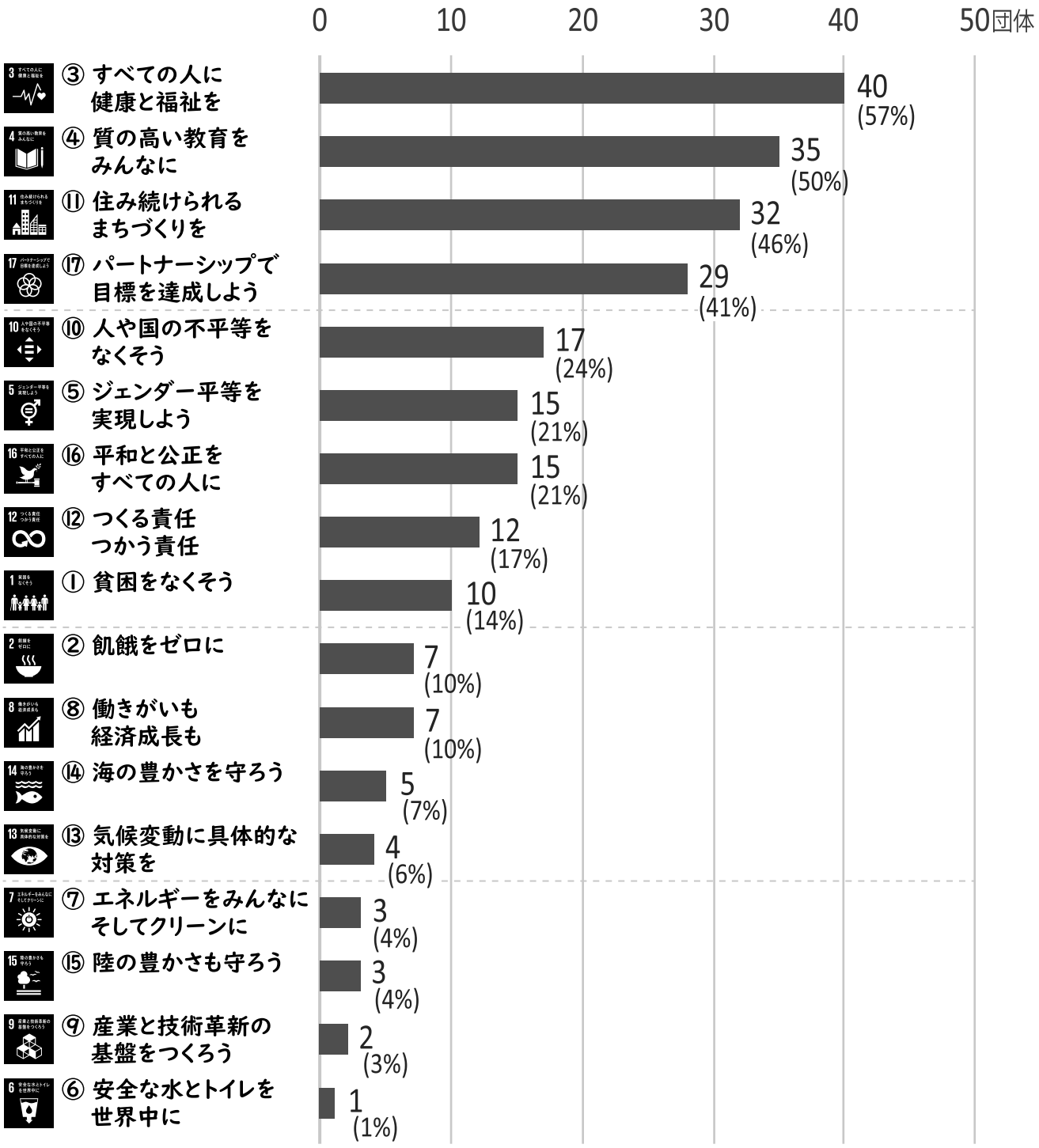
依頼があれば、まちセンを飛び出しての
普及活動も行っています。お気軽にご相談ください。

各市民活動団体のSDGｓ17の目標について

掲載している市民活動団体（７０団体）のSDGs１７の目標の取り組みをまとめました。７０団体が選択したSDGs１７の目標は、計２３７を数え、各団体が複数のSDGsの目標に取り組み、活動しています。

一番多くの目標として取り組まれているのは、”③すべての人に健康と福祉を”で半数を超える40団体（５７％）です。次いで、”④質の高い教育をみんなに”は３５団体（５０％）、”⑪住み続けられるまちづくりを”が３２団体（４６％）、”⑰パートナーシップで目標を達成しよう”は２９団体（４１％）です。”

一方で、取り組み団体が５％以下のSDGsの目標は、”⑦エネルギーをみんなにそしてクリーンに”と”⑮陸の豊かさも守ろう”が各3団体（4%）、”⑨産業と技術革新の基盤をつくろう”は2団体（3%）、”⑥安全な水とトイレを世界中に”は１団体（１％）です。



効果的にSDGsを市民活動に活用するためには？

SDGs は、市民活動を進めていく上での道しるべや確認手段です
まずは、

SDGs 目線で地域や世界をみてみましょう！

つまり、SDGs の視点から、日常の景色や物事を捉えなおすことが必要です

そのうえで、**ワクワクすることをやる**

活動していて、ワクワクすることは？
どんな人が、一緒にワクワクしてくれる？
ワクワクを増やすには、どうする？

その時に、
「何かに困っている人にも、
ワクワクしてもらいたい」
のやり方を、考えよう！

★ どんな活動も、世界につながっています。SDGs のゴールに向けての起点になります
★ シナリオが示されているわけではないので、できること・やりやすいことからスタート！

大切なのは、

バックキャスティング

SDGs を達成した未来が来るものとして、
そのために今やるべきことを
考えてみましょう

SDGs 達成のため、よく言われる言葉に
「1人の1歩より、1人の100歩より、**100人の1歩**」というのがあります

ささやかな活動でも構いません。役に立つことが集まれば、大きな力になります
まずは、やってみましょう！

そして、いつまでの自分事と感じない人がいたら、こう言ってみてください
「SDGs が達成できなかった世界に住み続けたいですか？」と

発行・お問合せ
函館市地域交流まちづくりセンター
〒040-0053　函館市末広町4-19　　電話　0138-22-9700　　FAX　0138-22-9800
メール info@hakomachi.com　　HP http://www.hakomachi.com

企画・編集
特定非営利活動法人　NPOサポートはこだて

2021年1月発行

価格：500 円＋税